新京日日新聞
夕刊　八月一日（水）
發行所　新京日日新聞社
印刷人　谷啓二郎

漸く天氣が快復して　土建界稍々活況　只砂だけが不足勝ち

目下最盛期にあるべき新京の建築界は六月下旬以來の連日の

＝降雨＝に材料の運搬能力減とそれに加へて煉瓦、砂の品不足から一頓挫の形にあつたがこゝ數日來の天氣見直りで運搬も漸く舊態に復しつゝあり建築關係業者は稍々愁眉を開いた形である、砂は依然として不足をつげ今一坪二十七、八圓まで暴騰、而もこれがひつぱり合ひの有樣であるが煉瓦は目下既製品が二千萬個くらひ伊通河兩岸に積まれてあるので今後天候さへ順調にゆけば八、九兩月の建築にはあまり支障は來さないものとみられてをり建築業者も大いに意氣ごんでゐるので今後この天候でゆけば

＝今日＝まで遲れてゐた工事は八、九の兩月にはかなりとり戻しをつける模樣である

洪水の影響で　窯業家泣き面　約束の納品不納か

新京の一ヶ年の煉瓦製造能力は一億以上であるが本年は七月二日以來伊通河の洪水によつて各工場とも作業中止の形となり、今後天候が今の調子でゆくとしても舊態に復し作業を開始するまでにはなほ十日以上を要するとみられてゐるから四十日以上を休業したことゝなる而して新京の煉瓦業期間は結氷の關係で約六ヶ月でありこのうち四十日を休業したとしても約四分の一の製造が不能となつたわけであるから、本年の製造個數は七千五、六百萬で明年に相當持ち起す意氣込みでゐた當業家は反對に約條品の納入さへ完全に出來ないといふ狀態におちいつてゐる

獨乙の製油原料禁輸　緩和されん

【ベルリン國通】ドイツ政府は去る五月廿九日附布告を以て大豆、落花生等製油原料の一時的輸入禁止を發令し、今日に至つてゐるが、右禁止令は其後到底永續し得ざる事過般の情況が立證し、これが緩和を認むるの止むなきに至つたしかし右禁止令の撤廢乃至緩和に關しては未だ何等公式布告なく、只製油業者と農務省間に諒解があるのみである製油業者はこの諒解に基き相當量が許可され、輸入制限を受け乍らも昨年の輸入量と略同じ數量の輸入を許可さるゝものと觀られてゐる、但し輸入代金の支拂は、從來の如く六ヶ月先の長期拂を認めず、三ヶ月迄に限り許可する

繭價の變動に關係無き　根本的農村救濟策を樹立

【東京國通】農林省の蠶糸對策は二、三日中に大藏、農林兩省間で成案を得らるる見込となつたが、山崎農相は養蠶地方の窮乏原因は資金缺乏と飯米値上りで、蠶系救濟策には單なる政府の政策のみでは根本的の樹直しは不可能故、臨時的の應急策を一旦打切つて變動多い繭の多少の値下げなどと關係ないやう一面又米穀問題の根本政策樹立に轉向したが、之は農村對策に對する政府の態度を示したものと多大の興味が持たれ、農村對策實行に一歩を進めたものと各方面より注目されてゐる

興銀利下げ　今期中に具体化せん

【東京國通】興銀利下げに就ては三井はそれを希望してゐるが、三菱、安田、第一とも消極的態度を持して居り意見は一致するに至らないが、今期中には具体化する模樣である

奉吉線柳河縣地方の水害

【奉天國通】奉吉線柳河縣地方の洪水による浸水被害左の如し（單位天地）

地名	被害
尹家街	二九、〇
黃家街	七、五
大牛溝	六、〇
外灣溝	七、五
新興村	二四、〇
馬鹿溝	一一、〇
計	八五、〇

米價日に高く　農林省持米を賣却せん

【東京國通】最近の天候不順は本年の米作柄を益々悲觀狀態ならしめ、米價は日日に高値を示し、米價高による消費階級の壓迫、地方の飯米不足減少も益々濃厚なるため、農林省では遂に糶貯藏解除に引續き近く內地米卅五萬石、朝鮮米百七十萬石の季節調節買上米の整理賣却を斷行する方針に決した

日銀週報

【東京國通】今週の日銀週報左の如し（單位千圓）

項目	金額
兌換券發行高	一、二四〇、三八一
正貨準備	四五六、五八四
保證：譯	
公債	二五八、二八三
政府證券	五二、八九六
證券	一〇九、二九〇
手形	二六三、三二五

松花江の防水　金子隊長狀況發表

【ハルビン國通】松花江增水の爲防水の第一陣に立つて日夜奮闘しつゝある防水隊長金子大佐は談話の形式を以つて左の如く發表した　松花江の增水は現在の水位に於て過去三十年來第二の出水量で、今後幾許の上昇を見るや豫想し難き

＝狀況＝である、誠に寒心に堪へない、一昨年大洪水當時の最大江水面より尚九〇センチ餘低いが今日に至る迄哈市が水の脅威に救はれて居るのは防水委員會の晝夜分たざる涙ぐましき奮勵努力に俟つもので誠に市民と共に感謝に堪へない、上流各支流もその水位漸次降下の一途を辿り、目下哈市附近に到着しあるものは主として第二松花江及び嫩江のものにして地方的降雨により多少の差はあるも概ね毎日約八、九センチ宛上昇しつゝある狀態にしてあと五、六日現狀を續けるものと豫想せらる、防水隊は一昨年の大洪水に鑑みその最高水面よりあと三十センチの上昇を見るも玆に耐へ得る準備工作を進めつゝあり、不幸にしてこれ以上に

＝上昇＝する事あるも人爲の總てを盡して、市民の楯たるべき最善を盡す考へであるから市民諸君は宜しく我々防水隊に依頼し徒らに風聲鶴唳に兢々たる事無く、我々の任務達成に一般の援助協力を望む次第である資北鐵道は殆んど松花江北鐵々橋と同樣雨量の水量は流過し得るので多少これがため遮られ水位を昇騰するとするも其の量は僅少のもので傅家附近に影響する所は五サンチ內外と思ふ、北鐵線路が既に決潰したとせば、資北線の堤斷は確かに水位を低める上に大いに役立つものと思ふが、然らざれば北鐵をその儘とし資北線のみを切斷するもその效果は疑はしい、又假令これを切斷するも僅かに百メートルや二百メートルにてはその效果は微々たるもので又一度決潰せばその

＝全長＝は少くも一、二キロメートルに延伸すべく、これが復舊は多大の勞力と莫大の費用と長期の時日を要すべくその期間資北の蒙る損害は甚大にして、此等の費用を市民諸君は負擔するの覺悟あるや否や、これ等を考ふる時現狀未ださまで切迫しあるにあらずで、防水隊に於いて充分防止し得べき情況に於て輕々にかゝる非常手段を弄するは策の得たるものに非ずと信ず市民諸君は防水隊に信頼し輕擧妄動を戒め大局に目覺め一部の犧牲に

＝齷齪＝する事なく我等の任務達成に一層の協力を望むものなり

熱河の入省制限　撤廢さる

【奉天國通】熱河へ入るには從來朝陽に於て入省者身許調査を爲し相當制限を加へてゐたが、八月一日より現地取締となり事實上入省制限は殆ど撤廢の形となつた

米大學で　美濃部博士招聘

【東京國通】米國ノースウエスターン大學では日本憲法連續講議の爲、日本憲法學の權威美濃部達吉博士を同大學に招聘すべく日本大使館を通じ外務省にその斡旋方を求めて來た、右に就き美濃部博士は先方の希望が今年秋と云ふ事であるが今年は都合が惡いので明年なら考へても良いと思つてゐる、差當つてすぐと云ふ事でしたら私の代りに二、三の候補者は出す積りですと語つた

十三都市　卸賣物價指數

【東京國通】商工省發表六月中の十三都市の卸賣物價指數は平均九十五で前月より二厘減、前年同期とは保合である

熱河省の　水災救濟

【承德國通】熱河省公署では水災各縣に對し救濟金を交附する事になつて居り特に被害の甚大であるのは凌源、朝陽の各縣で既に各一千元づつは交附されたが、急速なる調査報告を俟つて更に對策を考究する事に決定して居る

松花江下流新甸　大暴風雨

【ハルビン國通】松花江下流新甸方面は去る二十六、七日に亘り大暴風雨に見舞はれ波浪激しく大海の觀を呈し江岸は殆ど浸水、又堤防決潰のため市街は大混雜を極め住民は大恐慌、ハルビン航運局に救濟のため船舶の急派方を依頼して來た

出超の　季節的貿易情勢

【東京國通】本格的出超期に入つた本旬の對外貿易は差引四百五十八萬四千圓の出超を示し愈々出超の季節的貿易情勢をたどり輸出商品は全面的に活況を呈して居る前旬に比し輸出金額が著しく增大してゐるに拘らず出超額が前回と大差ないのは棉花輸入が當業者の豫想を裏切つて四十六萬八千ピクル餘の大量着荷を見た爲めで期末を越へて尚大量の輸入を持續した本年の棉花輸入も愈々今旬あたりが峠でその後は漸減の一路をたどるものと觀られてゐる輸出方面に於て今旬の顯著な現象は罐、瓶詰食料品の異常な飛躍でその金額二百四十四萬二千圓は今年の最高記錄である、其他綿織物人絹織物共に盛況を續けて居り數量的には常態で一般雜貨も輸出總金額の五十七パーセントを占むる好調である、海外各市場も今のところ特に悲觀材料はなく現實的な商取引は依然樂觀的空氣が多い

六月中に於る　新京金融經濟狀況（一）

―朝鮮銀行新京支店調査―

特產物は之より愈々夏枯閑散期に入り出廻商內共に減少せしも土木建築界は漸く繁忙期に入れり、月央以後降雨頻々なりし爲木材河豆共に出廻り減少したり、翻つて輸入品方面を見るに綿糸布市況は前月繁盛の後を受けて閑散、麥粉市況亦平凡砂糖市況稍活氣を見せしも木材市況は幾分引締りたり、土建材料の入荷も順調に入荷せられ諸企業に伴ふ資金の流入も相當額に上り當地金融界は資金潤澤となりしに拘らず一般商況以上の如くにて投資對象少く遊資多かりし爲遂に月央十五日より當地組合銀行（新京銀行は七月一日より）は一齊に預金金利の引下を爲したり、當地組合銀行の月末殘高は金預金減少し貸出增加鈔票勘定は預金貸出共に減少國幣勘定は共に減少し居れり

一、特產物市況

新京驛に於ける發送貨物數量（單位キロトン）

品名	前月	當月	前年同月	對前年比較
混保大豆	[illegible]	八、一〇〇、〇	四、四四七、〇	◎三、六五三、〇
普通大豆	六九〇、〇	一七〇、〇	六〇〇、〇	△四三〇、〇
高粱	五、二八〇、〇	五、六二〇、〇	八四〇、〇	◎四、七八〇、〇
包米	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]
粟	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
吉豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
蘇子	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小麻子	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
蕎麥	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]
豆粕	三、三二一、二	一、四五九、二	—	◈一、四五九、二

大豆

月初獨乙に於ける油脂原料一時輸入禁止の報に八圓八〇と七〇錢方下放して現はれ上旬は不動保合に推移中旬に至り大連に於ける輸出筋の買控へに投物殺到八圓一〇と月中の安値に崩れしがあと南支筋及邦商の買進みに八圓四五〇と反撥天候不順による作柄懸念をも傳へて尚も買氣を煽り九圓一〇と躍進せり

相場石鈔票建　最高九圓一〇錢最低八圓一〇錢平均八圓五八錢
出來高　六〇車（現物のみ、先物出來不申）

高粱

當初二圓四五と牢調に現はれ上旬は三圓四、五〇所に焦付商狀に推移し中旬に入るに及び大連に於ける南支筋の賣物に三圓二〇と小緩みしがあと大豆高に三圓四、五〇と小反撥の矢先天候不順による奧地筋の買氣旺盛を傳へ四圓どたと上伸せり

相場石鈔票建　最高四圓最低三圓二〇錢平均三圓四九錢
出來高　一四二車（現物のみ先物出來不申）

包米

相場石鈔票建　最高六圓六〇錢最低五圓一五錢平均五圓八〇錢
出來高十車

東亞の天地（愛國軍事小說）

陸軍少佐　森嘉吉
川路慶太郎畫

む　勞農旗の下に（二）

グリゴリー、ベセドフスキイはスターリンに見込まれて、前公使の歸國後、參事館から一躍して、駐日代理公使を勤めた人で、その政黨的色彩はソヴエートの帝制時代には、社會革命黨に屬し、革命後も、しばらくは同黨員としてボルシエヴスキイと協同するに止まつてゐたが、後、共產黨に入黨し、教育があり、語學も得意なところから、外交官にあげられた人であつた。

その最初オーストリー、ポーランドの兩公使館書記官を歷任し、日本に來たのは一九三〇年春、後パリ大使館參事官に轉じ、自己の獨得な經理問題と日ゾの風雲急なるため歸國の餘儀なきに至つた前公使の後をうけて、その代理公使を勤めた人で、いつも、この貿易商會に尋ねてくるのだつた。

ベセットフスキーは、顏面を緊張させて、グツネフオフに書類を手渡する。

『困つたものだ、昨日、爆擊機一臺を含むゾ軍の軍用飛行機十臺が、戰鬪態勢のまま滿州國境をこえ、滿州國に侵入したんだ。そのうち六臺は射おとされ、搭乘赤軍飛行士二十名以上は、死亡し、または逮捕監禁のめにあつたのだ。――今朝、我輩は、露ケ關に召喚されて、廣田外相から嚴重抗議された、我輩は、全然事實無根であると、抗議を一蹴した。廣田外相は――かくの如く多數の飛行機によつて、かくも奧地まで侵入されたことは、始めてである、事態を重大視せざるを得ないといふのだ』

『無理からぬ話しではないかね、それは！』

聞かが、わらひながらいつた。

『馬鹿！こ、こゝで其までさういふ氣になつては困る。それを事態無根であると、抗議を一蹴するにどんな努力を要したか、きみに分つてゐるか』

易然といつてのけると、ゲー、ペー、ウーの代表スヴエルチエフスキーが、

『內輪喧嘩は、止さねえか』

と、たしなめた。

代理公使ベセドフスキーは、このゲー、ペー、ウーの駐日代表にかかつては、空つきし意氣地がなかつた。

表面に貿易商會の監督課長となつてゐるがスヴエルチエフスキーは、モスコーのゲー、ペー、ウー本部の駐日代表で、實際上の權限は、大使に賦與されてゐながら、その監督權は、スヴエルチエフスキーにあつたので、その勢力は、王侯のやうなものであつた。

『だが僕の苦衷も察してもらはんと困る、わが極東軍司令官ブリユツヘル將軍の大失策は、すべて駐日大使の上にかかつてくるのだ　わが輩は二時間の後、再び露ケ關まで出頭した。ゾ軍の轟爆擊機が滿州國に飛行したことは、匪賊討伐のためであつて、とくに、國境から二キロ內方の上空を飛行したのであつて、日本と、滿州國との抗議は、一片の臆測にすぎない――と辯明した。』

『その時、外相は、何と云つたんだ』

『外相ばかりぢやない、露ケ關で偶然おちあつた各國の大使連中も、ゾヴエート聯邦政府が、その事實を否定したのは、單に外交的辭令であり、遁辭である――と、評したよ』

『外相は再度侵入の場合、射おとすための準備が、日本の司令官側に、一切完成してゐる――と、云つたよ』

『ほう、強硬だな、そいつは！』

スヴエルチエフスキーは、薄く味惡く笑つた。

聲で繫ぐ日滿親善
けふ無線電話開通
兩國首相先づ祝辭の交換
まるで市內電話同樣

日本と滿洲を肉聲でつなぐ無線電話の開通式は一日午前十時（日は午前十一時）の同時刻から滿洲は新京大和ホテル日本は東京中央電話局樓上で盛大に擧行された、あらゆる文化にみ放されてゐた滿洲も今は軍政時代の跡をとゞめず通信機關も建國以來滿洲電信電話會社の經營によつて急速な發達をみ、ことに無線電話の開通は日滿兩國の通信史上に一頁を殘す意義深いものだけに、これが前途には多大の期待をかけられてゐる逆捲く日本海の怒濤も刹那に乘りこへ、風雲更になにものでなく電波は日滿親善の通信をのせ、兩國の上空を自由に活躍するの時がきた!!

この日式場にあてられた大和ホテルの大食堂は煌々たるシャンデリアに燦然と輝き、日滿兩國旗は木間もる

微風にゆらめいてあたかも日滿兩國通信史上のこの劃期的事業を壽ぐもの〻如くであつた、定刻五分前菱刈大使、鄭國務總理、丁交通部大臣、八田滿鐵副總裁、小川大連市長、金新京特別市長、張實業部大臣、岡村參謀副長その他の列席者百五十余名は、山內電々會社總裁の案內で式場に入る、かくして定刻十時に至るや山內總裁の挨拶があり、中田技術部長の設備概要の說明があつていよいよ官民代表の祝辭交換に入る、このとき場內は極度に

緊張し菱刈大使、鄭國務總理をはじめ一同はかねて機上に設備された受話機を耳にしてかたづをのむ、やがてまつほどもなく東京中央電話局の樓上からこの日先陣を承つて送話機の前に立つ岡田首相紹介の聲がハッキリと耳に入り、次いできこへる拍手、今十時十七分—本日こゝに…と岡田首相の肉聲が手にとるやうに力強く鼓膜を打つや、期せずして喜悅の色が一同の面上にたゞよう、かく感激裡に同二十分首相の祝辭が終るや滿洲からの第一聲をあげる鄭總理はさすがに

平素の溫顏を紅潮させ同二十一分會場正面に据へられた送話機の前に起つて低聲ながらも例の歯切のよい發音で喜ひの辭を善隣邦國に送る、かくして兩方よりの祝辭交換は床次遞相最後に菱刈大使の祝辭があつてこの意義ある式を終り祝宴に入つた

山內總裁挨拶

本日玆に新京無線電信電話開通式を擧行致し度く御案內申上げました處炎暑の砌御遠路御多用の處を枉げて多數各位の御賀臨を辱ふし得ましたことは弊社の洵に光榮とする所であります、抑電氣通信事業本來の使命は國境を超越致しまして萬邦東西の民衆が相呼應し又異郷坐ながらに交歡して意思の疏通を圖りますると共に相互の福祉を增進し文化の向上、經濟の發展等に寄與すべきものと考ふるのであります

×

然るに滿洲に於きましては、從來此種施設は聊か立遲れの感がありましたので、全滿に於ける電氣通信網の擴充整備の重大使命を帶ひて生れました弊社は此の使命遂行の一端と致しまして敢て營利を目的とせず、玆に新京無線を緊急施設した次第であります、幸にして起工以來極めて順調に進捗致しまして、本日此處に開通式を擧行し得る運ひに到りました事は偏に滿場の來賓並に大方各位の一方ならざる御後援の賜と深く感謝申上ぐると共に一面又日滿經濟「ブロック」の上に一大光明を與へ兩國の共存共榮の爲聊か貢獻し得る機運の到來致しましたことを思ひ衷心欣快に堪へないのであります今回竣工致しました新京無線は寬城子送信所、孟家屯受信所及新京無線電信中央操縱所並に新京無線電話中央操縱所の四箇所の設備の總稱でありまして、最新の學理を應用し無線技術の粹を蒐めたもので確に滿洲無線界に一新紀元を劃すべき存在たることを深く信ずるものであります

×

無線電話に就きましては差向き新京、奉天、大連、哈爾濱の四都市と日本の東京、大阪等六大都市を始め北は靑森より南は鹿兒島に至る間の主要都市との相互間に電話連絡が出來得るのでありまして相手以外の者が傍受出來ぬ樣な裝置も施してあります、又無線電信は從來奉天から通信して居りましたものを廢止しまして新京から直接米獨に對し高速度通信を行ふのでありまして將來對佛等の擴張をも考へて居る次第であります

×

冀くば滿場の貴紳、切に弊社の特殊使命を御諒解下さいまして本無線電信電話を充分御利用下さいますと共に將來一層の御援助と御鞭撻を賜はらん事を偏に懇願致す次第で御座居ます、本日は炎暑遠路のところを折角御出で下さいましたに拘らず設備萬端甚だ不行届の段何卒不惡御容赦の程を御願ひ致します、甚だ蕪辭ではありますが一言御挨拶を述べて式辭に代へたいと存じます

祝辭
岡田首相

本日此處に本邦、滿洲國間電話の開通式を擧行せらるゝに當りまして一言祝辭を述べるの機會を得ましたことは私の欣幸とするところであります惟ふに國際間の理解と協調とを要すること極めて切實なる今日、國際通信網の普及充實は國運の伸張並に國際親善の增進に喫緊の要事であります、而して盟邦滿洲國が着々として健全なる發達を遂げつゝあるの時に當りまして、先に在滿電信電話事業の統一、整備せられるゝあり今又玆に日滿無線電話の開通を見、兩國間の距離を著しく短縮せしめるに至りましたことは、依て以て日滿共存共榮の實愈々上り、兩國緊密の關係を益々深まらしむるのみならず、進んで東洋の平和を確保し、延ては世界の平和に寄與するところ大なる可きを信じて疑はないのでありまして誠に慶祝に堪へざるところであります私は兩國通信史上に一新紀元を劃する本施設の實施に際しまして、玆に深甚なる祝意を表し關係各位の御努力に敬意を表すると共に益々共心戮力本施設の適切なる運營に意を用ひ初期の目的達成に邁進せられんことを切望して止まざる次第であります

滿洲帝國國務總理大臣
鄭孝胥

古に稱す隣國聚析相聞ゆと、今日電話を以て接談する、名は隣國といふも實は隣居と何ぞ異ならむ、人情近ければ則ち相親み、遠ければ則ち疏なり、能く工巧の器械を借り以て道德の感情を達すれば則ち物質の文明も利用し得べし、我が日滿兩國の精神文明は本と同氣たり此の物質を籍り以て其の親愛を增さば此より必ず無窮の進歩あらむ、鄭孝　敬て兩國人民の爲に其の欣賀を致す

名古屋無電局の活動

【名古屋國通】名古屋無電局では卅日から歐洲各地方、フイリッピン宛の電報中繼をなして居るが、日本最初の作業であり日本が今後東亞無線の中心たるべき前提として注目されてゐる

榮轉の栗原天津總領事
大連經由歸朝

【天津卅一日發國通】外務省調査部長に榮轉の栗原天津總領事は一日午前十一時五十分天津驛發列車で塘沽に赴き午後一時出帆の長平丸に乘込み大連經由歸朝する事となつた

外務と陸軍の間に
諒解成れる 對滿二位一体制
拓務省の權限は縮少されるか

【東京國通】岡田內閣は對滿政策の確立を以て一大使命と爲し目下外務、陸軍兩省では夫々右に關する具体的立案に着手し稍々完了の域に達してゐる所兩三日中駐滿大使館參事官谷正之氏が軍部、外務其他の左記在滿諸機關の綜合的意見を携へ打合せに歸朝する事となつたので近く外務、陸軍關係各省間に對滿國策統一に關する協議會が開催される筈である、對滿國策樹立が要望される所以は即ち在來の關東軍、駐滿大使館、關東廳が我國策遂行の機關として存在してゐる爲め事每に政策實施に支障を來し所期の目的は達成されないので、弊害ある所謂三位一体制を解消し二位一体制の確立が叫ばれるに至つたものだ、今日まで陸軍、外務兩當局が一致せる所を列記すれば左の如くである

一、三位一体制を解消して對滿洲國政策の遂行は關東軍と駐滿大使館が之に當る
一、關東軍は滿洲國の國防の一切の責任を擔當する
一、關東廳は關東州內に於る滿鐵其他諸般の監督のみに權限を縮少し純然たる一地方行政官廳とする
一、滿洲國內に於ける滿鐵事業、東拓其他特殊會社の監督、警察權一切を擧げて外務大臣の管轄下に移す

と云ふのであつて若し右が實現するなら拓務省は滿洲を見限り關東州內に退却を餘儀なくされる譯で、治外法權の撤廢、滿鐵附屬地行政權の還附等はこの二位一体制の確立に伴ひ漸進的に解決されるものと觀られてゐる

近衛公歸朝

【東京國通】貴族院議長近衛公爵は米國に留學中の令息文隆氏を同伴、一日正午橫濱入港のタコマ丸で歸朝した、近衛公は米國滯在中大統領始め各方面の人々と會見し、米國の動向に就ても親しく視察して來つたので近く岡田首相並に廣田外相に會見、對米外交に關し重要なる進言をなすものと觀られてゐる、なほ駐佛佐藤大使も同船で歸朝したが、佐藤大使も今回の歸朝は明年の軍縮會議に關する打合せが主で、目下歸朝中の齋藤駐米大使其他軍縮關係者と共に今後屢々協議を爲す豫定である

谷參事官大連經由

日本に向け旅行中の谷參事官一行は京圖線水害箇所修復期が不確實となつたため豫定を變更、一日扶桑丸で大連發のこ〻となつた

外人記者團に
岡田首相所信披瀝
軍縮問題で一問一答

【東京國通】岡田首相は三十一日午後二時半首相官邸で在京外國人記者團と會見したが席上大要左の談話を爲した

只今の世界情勢を見るに各國共に經濟上思想上等に掛らざる動搖を來し其の國際關係も亦甚だ不安に襲はれて居る、今日ヨーロッパに於ける國際關係は約廿年前の世界大戰前よりも尙險惡なるものがある、然し我々はあらゆる手段を盡して國際關係を平調に復し萬邦協和の精神の下に世界の平和を確立維持しなければならない、滿洲國に對しては帝國は終始全幅の援助を與へて來たが、今後も同樣發展のため出來得る限りの支援を惜まない、隣邦支那の治安は東亞の政局上重大なる影響を及ぼすもので帝國の最も關心を有するところである、帝國は東洋平和秩序維持並に文化の發展に貢獻する事を以て重大使命としてゐるソ聯邦との關係についても特に愼重に考慮してゐる次第であ〻、米國との間には目下別段の懸案もなく又イギリスとの關係は傳統的親善關係を維持してゐる、其他の諸國とも幸に何れも友好關係を維持し難關ある問題は有しない、近來隨所に通商上の紛議を招來してゐるが、之は互讓の精神により整調し得べきかと思ふ、惟ふに列國にして帝國の東亞に於ける地位を充分に認識せられ帝國の東亞平和の安定力たる所以を諒解せらるゝに於ては東亞の諸問題、海軍問題等も其解決は敢て困難でなく帝國は愈よ世界平和の增進に貢獻し得る事と信ずるものである

尙ほ外國記者團は引續き岡田首相と左の如き質問應答を行つた

問　一九三五年の海軍會議に對して閣下は如何なる希望と期待とを持つて居られるか、簡單におしらせ願ひ度い

答　軍縮は至極結構な望ましい事である、しかしながら大なる海軍力を持つて居る國家が最も大なる削減をせねばなるまいと思ふ

問　海軍問題で日本の要求するところは英米の大海軍を削減して日本と對等にするにあると言ふのか

答　そんな急激な變化を起すやうな事は考へて居ない

問　それならどんな方式で削減するか

答　比率主義の如き自尊心を傷けるものはいけない

問　日本は本年末ワシントン條約の廢棄を通告する事があるか

答　廢棄の可否は目下考慮中だ

問　日本は比率主義がいけなかつたら如何なる方法をとるか

答　他に相當の方法があらうと思ふ

問　良い思ひつきでもあるか

答　それは總理大臣として未だ言ふ迄に達して居ない

問　軍縮會議を成功させ度いと思ふか

答　私としては成功させ度いと思ふ

問　軍縮會議の決裂は日米を建艦競爭に導くか

答　決裂等といふことは考へない、なるべくでかし度いと思ふ

その日く

□日滿無電、けふ開通の喜び政府及び會社當路者のみの喜びではない

□三位一体を更に二位一体に、對滿方針の確立へ、皇國百年の計を立てよ

□滿洲國大使館に守屋參事官在勤決定、治法撤廢いよいよ近きか

□谷參事官吉林まで行つて逆戻り、大連經由東上、京圖線開通一年後のこと

□滿洲國の減俸案反對運動再び表面化、そもそも基礎案か…

陸軍定期大異動
けふ發令さる

【東京國通】林陸相の手によつて始めて行はれた陸軍定期進級大異動は、相當の新鮮味を加へて、一日附發令を見たが、內主なる進級異動は左の如くである

進級

野戰砲兵學校長少將　伊東政喜
技術本部第三部長同　山田卯三男
下志津飛行學校長同　大江亮一
參謀本部附同　森田宣
旅順要塞司令官同　鏡山巖
參謀本部附同　今井清
支那駐屯軍司令官同　梅津美治郎
步兵學校幹事陸軍少將　下元熊彌
關東軍憲兵隊長同　田代一郎
陸軍省人事局長同　松浦淳六郎
○○○隊司令官同　三毛一夫
近衛步兵第二旅團長同　谷壽夫
熊本教導學校長同　福田袈裟雄
第二師團司令部附同　山崎定義
造兵廠東京工廠長同　高橋貞夫
技術本部第一部長同　中島三郎
造兵廠名古屋工廠長同　黑須辰之助
參謀本部第三部長同　山田乙三
任陸軍中將（各通）
陸軍經理學校長主計監　平手勘次郎
任陸軍主計總監
陸軍造兵廠大阪工廠火砲製造所長砲兵大佐　內藤喜三郎
第十六師團參謀長步兵大佐子爵　大島陸太郎
步兵第十三聯隊長（熊本）同　鷹津平
波蘭國在勤帝國公使館附武官同　石脇正隆
步兵第卅三聯隊長（津）同　西垣眞一
第一師團司令部附慶應大學服務同　栗田小三郎
第十九師團參謀長同　中村晋吉
水戶聯隊區司令官同　板坂順治
技術本部々員工兵大佐　內田莊一
航空本部第二課長航空兵大佐　春田隆四郎
關東軍司令部附（ハルビン特務機關長）步兵大佐　小松原道太郎
近衛步兵第四聯隊長同　志岐豐
陸軍省軍事課長同　山下奉文
下志津陸軍飛行學校幹事航空兵大佐　後藤廣三
陸軍省銃砲課長砲兵大佐　石井善七
參謀本部課長同　岡部直三郎
技術本部々員同　井上一郎
侯爵　野戰重砲兵第五聯隊長（小倉）同　中野太介
第四師團參謀長同　井關隆昌
野砲兵第六聯隊長（熊本）同
造兵廠東京工廠砲具製造所長同　城島榮與
野戰重砲兵第二聯隊長（三島）同　清水出美
陸軍野戰砲兵學校長同　藤江惠繼
砲兵大佐　木本徐雄
近衛輜重兵大隊長　面高俊雄
輜重兵大佐　佐田幸彥
關東軍司令部附騎兵大佐　濱田陽兒
步兵第二聯隊長（水戶）　中山健
步兵大佐
靜岡聯隊區司令官同　山本壽美
步兵第七十聯隊長（篠山）同　上森猛省
步兵第卅一聯隊長（弘前）同　早川止
步兵第四十九聯隊長（甲府）　小見山恭造
同　第十四師團參謀長同　飯野庄三郎
騎兵第十聯隊長（姬路）　松田仁三郎
騎兵大佐
支那駐屯軍參謀長砲兵大佐　菊池門也
陸軍砲工學校教官工兵大佐　飛鳥井雅四
所澤飛行學校幹事兼航空兵大佐　長嶺龜助
第一師團司令部附東京工業
大學服務步兵大佐　伊東正弼
步兵第十九聯隊長（敦賀）同　宇高
任陸軍少將（各通）
第六師團軍醫部長一等軍醫正　越川彰
第十九師團軍醫部長同　伊藤哲一
第十一師團軍醫部長同　鷹津三郎
任陸軍々醫監（各通）

轉補

第二師團長中將大勳位　稔彥王
補第四師團長（大阪）臺灣軍司令官大將　松井石根
朝鮮軍司令官同　川島義之
補軍事參議官（各通）參謀次長中將　植田謙吉
補朝鮮軍司令官 第四師團長中將　寺內壽一
補臺灣軍司令官 陸軍航空本部長中將　杉山元
補參謀次長兼陸軍大學校長 陸軍造兵廠長官中將　岸本綾夫
補陸軍技術本部長 臺灣守備隊司令官中將　外山豐造
補第九師團長（金澤）憲兵司令官中將　秦眞次
補第二師團長（仙臺）陸軍次官中將　柳川平助
補第一師團長（東京）參謀本部總務部長中將　橋本虎之助
任陸軍次官 參謀本部第一部長中將　古莊幹郎
補第十一師團長（善通寺）陸軍省兵器局長中將　植村東彥
補陸軍造兵廠長官 陸軍科學研究所第一部長少將　多田禮吉
補陸軍省兵器局長 ○○○團長中將　宇佐美興屋
補騎兵監 騎兵第二旅團長少將　蓮沼蕃
補○○○團長 騎兵監部附少將　笠井平十郎
補騎兵第二旅團長（習志野）所澤飛行學校長中將　堀丈夫
補陸軍航空本部長 明野陸軍飛行學校長少將男爵　德川好敏
補所澤陸軍飛行學校長 少將
補明野陸軍飛行學校長　春田隆四郎
中將 補砲兵監　伊東政喜
補憲兵司令官 中將　田代一郎
補朝鮮憲兵隊司令官 朝鮮憲兵隊司令官少將　岩佐祿郎
補關東憲兵隊長 大阪憲兵隊長少將　難波光造
補朝鮮憲兵隊司令官 中將　山田乙三
補參謀本部總務部長 參謀本部附少將（中將進級）　今井清
補參謀本部第一部長 關東軍司令部附少將　後宮淳
補參謀本部第三部長 下關要塞司令官中將　兒玉友雄
補第○○○守備隊司令官 中將　福田袈裟雄
補臺灣守備隊司令官 中將　谷壽夫
補東京灣要塞司令官 陸軍經理學校長主計監
補陸軍省經理局長 被服本廠長主計監　平手勘次郎
補陸軍經理學校長 陸軍士官學校幹事少將　奧田德三郎
補步兵第廿四旅團長（久留米）　東條英機
陸軍大學校主事　酒井鎬次
補陸軍士官學校幹事 少將　岡部直三郎
補陸軍大學主事 野戰重砲兵第四旅團長少將　上村淸太郎
補砲兵監部附 關東軍司令部附少將　多田駿
補野戰重砲兵第四旅團長（東京）參謀本部附少將　板垣征四郎
關東軍司令附被仰付（滿洲國軍政部顧問）少將　山下奉文
兵器本廠附（陸軍省勤務）被仰付 少將　石井善七
補科學研究所第一部長 參謀本部課長砲兵大佐　橋本群
補陸軍省軍事課長 陸軍省整備局動員課長
步兵大佐
補步兵第二聯隊長（水戶）陸軍步兵學校教官步兵大佐　橫山勇
補陸軍省動員課長 步兵大佐　田邊盛武
補參謀本部附步兵中佐　坂西一良
任步兵大佐 補陸軍省調查班長
補陸軍省軍事課々員 步兵中佐　清水規矩
任步兵大佐
補參謀本部第一課長
陸軍省經理局長 主計總監　小野寺長治郎
陸軍兵器本廠附

待命

陸軍技術本部長大將　緒方勝一

依願豫備役被仰付
第一師團長（東京）中將　森連
東京灣要塞司令官中將　上村友兄
第九師團長（金澤）中將　荒蒔義勝
第十一師團長（善通寺）中將　原田敬一
砲兵監中將　入江仁六郎
騎兵監中將　吉岡豐輔
第○○守備隊司令官中將　武田秀一
重砲兵學校長中將　時乘壽
步兵學校幹事中將　下元熊彌
待命・仰付（各通）

海外經濟

▲銀塊及爲替

品目	値
倫敦銀塊	二〇片一六分五
同先物	二〇片八分三
紐育銀塊	四六仙八分一
孟買銀塊	五六留比一六分三
米英爲替	五弗〇三仙四分三
米日爲替	二九弗九〇仙
米支爲替	三四弗〇〇〇
スチール株	三四弗四分三
アナゴンダ株	一〇弗四分三

▲米棉

限月	値
現物	一三仙一五
十月限	一三仙〇四
十二月限	一三仙一五
一月限	一三仙二二
三月限	一三仙三一
五月限	一三仙四一
七月限	一三仙四七

▲上海標金

	値
昨日引値	九八九八〇
高値	九〇三〇
安値	八八四〇
本寄値	八六六〇
步値	八七七〇

▲上海日本向　第一回 一三三三五〇　第二回 一三三七五〇

▲上海倫敦向　賣値 一志四片八分一　買値 一志四片一六分三

▲上海紐育向　賣値 三三弗八分七　買値 三四弗〇〇〇

▲大連金鈔票　現物 一二五六〇〇　寄付 八月十三日限 一二五六五〇　步値 [illegible]

引値・高値・安値・出來高　大連鈔票對銀大洋　現物 九七二〇〇

各地市場

▲神戶豆粕　七月限 三一八　八月限 ‖　九月限 ‖

大連特產

	寄	引
大豆 袋込 八月限	四三二	四二七
九月限	四三三	四二九
十月限	四三三	四三〇
十一月限	四三五	四一九
十二月限	四〇六	四一三
十二月	四三三	四三三
豆粕 現物	‖	‖
八月限	‖	‖
九月限	‖	‖
十月限	‖	‖
十一月限	‖	‖
十二月限	一三七〇	一三七〇
豆油 現物	‖	‖
八月限	一〇三五	一〇三五
九月限	‖	‖
十月限	一〇五〇	一〇五〇
十一月限	一〇五五	一〇五五
十二月限	‖	‖
高粱 現物	‖	‖
八月限	二六八	二七〇
九月限	二七三	二七二
十月限	二七二	二七六
十一月限	二七五	二七六

新京市況

特產現物		出來高
高粱	六八〇	三車
小豆	二、四〇	二車

◉錢鈔

鈔票對金票	一二五四二五
現大洋對金票	一二四三九五
國幣對金票	一〇八四九七
現大洋對鈔票	九六四六五
錢鈔先物	
鈔票對金票 八月廿八日限	寄付 一二五、六五　引値 一二五、四五
出來高	八千圓

「改正俸給査定案は文官の反軍部的策謀」
愛軍有志一同の名をもつて各方面に向け飛檄
減俸案に反對の火の手揚る

滿洲國の改正俸給令はいよいよ七月から實施された譯であるが事實は改正俸給の減俸率計算に手間どり假拂ひ計算といふ醜態を演じてゐるが今回の改正俸給令によつて日系官吏中最も打擊をうけたものは軍人出身者次は警察官出身者で滿鐵及び文官出身者は甚だしく減俸率が低い實狀に改正案が議せられてゐるところから猛烈な反對運動があつたが愈よ表面的運動化し右の俸給査定案は內地關東廳滿鐵出身者の反軍部的策動であるとなし徹底的排擊運動を起すべく左の如き檄を各方面に飛した

滿洲國日人官吏俸給査定案に伴ふ反軍部的策謀

拜啓酷暑の候一九三五、六年の國際的危機を控へ益々御奮鬪の段奉賀候

陳者今回滿洲國總務廳給與科に於て極秘裡に進行中の日人官吏俸給査定案に關し國防の第一線に在る同志相圖り大方の諸兄に實情を訴へ御批判を乞ふ次第に御座候

一、俸給是正方針（內容拔萃）

1本案は大同元年六月末日現在之俸給を基礎として本標準を適用す

2大同三年三月一日以降同年末迄に着任せる者に付ては大同二年十二月末日現在之俸給を基礎標準とし本俸一級を下ぐ（爾後採用者の本俸は其の前年末日現在俸給を基礎とし一級を下ぐ）

二、待遇

1元文官（別表一）

2元巡査の部【委任官（判任官）】（別表二）

元判任官の部（警部補及警部）（別表三）

3軍人出身の部（別表四）

三、元俸給に對する査定の割合

1元文官及滿鐵出身者 元俸給三七割—三九割

2警察官出身者 元俸級の二六割—三五割七分

3軍人出身 元俸給の二一割二分—二六割九分

以上の査定案を解剖檢討するに元文官（滿鐵）を第一位に警察官を第二位とし軍人出身は其下位に置かれ高等官も略々同樣の待遇なり吾人固より給與を云爲するものに非らざるも正に放棄の止むなきに至りたる滿洲を既往に遡り其の成立の經緯をかへり見るとき豈に三歎にのみ安んじ得べけんや！想起せよ、我忠勇なる皇軍が寒熱困苦欠乏、不眠不休三星霜に亘る正義の聖戰に親し妻子一家を犧牲にし將又幾千の將士を失ひ血を以て今日あらしめたるは皇國臣民の永久に忘るべからざる處なり然るに治安漸々進み國政逐日整備し滿蒙の天地に偉大なる功績を印したる郷軍々人（將又滿蒙の守護神として活躍しある皇軍人）の任用に當り斯の如き冷遇を以て迎ふるは何の故ぞや、是固より滿洲國當局者の預り知らざる處にして內地、關東廳、滿鐵出身日人官吏首腦部（政黨財閥關係者）の反軍部的策動を曝露せるものに外ならず、如何に清廉を旨とする軍人と雖も精神的打擊蓋し大なるものあり、軍部は彼等反軍日人官吏の爲め徹底的慘敗を喫し滿蒙は先づ郷軍よりの政策を無慘にも一蹴せられたるものと斷言して憚からず、軍部當局は如何にして郷軍に面目ありや、吾人は正義の爲め斯る反軍部的不良分子を滿蒙より逐驅し而して軍人出身の待遇改善に勇往邁進せんとするものなり

昭和九年七月 愛軍有志一同

別表第一 委任官（元判任官滿鐵社員之部）

元俸給	標準俸給 本俸	特別津貼	合計	割合
三〇圓	五〇圓	四〇圓	九〇圓	三〇、〇割
三二	五五	四四	九九	三〇、九
三五	六〇	四八	一〇八	三〇、八
三七	六五	五二	一一七	三一、六
四〇	七〇	五六	一二六	三一、五
四二	七五	六〇	一三五	三一、一
四五	八〇	六四	一四四	三三、〇
四七	八五	六八	一五三	三三、五
五〇	九〇	七二	一六二	三三、四
五二	九五	七六	一七一	三三、八
五五	一〇〇	八〇	一八〇	三三、七
六〇	一〇五	八四	一八九	三四、三
六五	一一〇	八八	一九八	三三、〇
七〇	一一五	九二	二〇七	三一、八
七五	一二〇	九六	二一六	三〇、八
八〇	一三〇	一〇四	二三四	三一、二
八五	一四〇	一一二	二五二	二九、六
九五	一五五	一二四	二七九	二九、三
一一〇	一七〇	一三六	三〇六	二七、八

備考 一、元雇員は一段階下り 一、元傭人は二段階下り

別表第二 委任官（元巡査之部、巡査及巡査部長）

元俸給	標準俸給 本俸	特別津貼	合計	割合
三三圓	五五圓	四四圓	九九圓	二六、二割
三七	六〇	四八	一〇八	二九、一
四〇	六五	五二	一一七	二九、二
四二	七〇	五六	一二六	三〇、〇
四五	七五	六〇	一三五	三〇、〇
四七	八〇	六四	一四四	三〇、六
五〇	八五	六八	一五三	三〇、六
五二	九〇	七二	一六二	三一、一
五五	九五	七六	一七一	三一、〇

別表第三 薦任官（元判任之部警部補及警部）

元俸給	標準俸給 本俸	特別津貼	合計	割合
四五圓	一一五圓	四六圓	一六一圓	三五、七割
五〇	一二五	五〇	一七五	三五、〇
五五	一三五	五四	一八九	三四、三
六五	一四五	五八	二〇三	三一、二
七五	一六〇	六四	二二四	二九、八
八五	一七五	七〇	二四五	二八、八
九五	一九五	七八	二七三	二八、七
一一〇	二一五	八六	三〇一	二七、三
一二五	二四〇	九六	三三六	二六、九
一四五	二六五	一〇六	三七一	二六、〇

別表第四 委任官普通兵科出身者之部

階級	等級	元俸給	標準俸給 本俸	特別津貼	合計	割合
軍曹	四等	一三、五圓	五〇圓	四〇圓	九〇圓	六六、六割
同	三等	一五	五五	四四	九九	六六、〇
同	二等	一八	六〇	四八	一〇八	六〇、〇
同	一等	三一、五	六五	五二	一一七	五四、〇
曹長	三等	六〇	七〇	五六	一二六	三一、〇
同	二等	六三、五	七五	六〇	一三五	三一、二
同	一等	七七	八〇	六四	一四四	三一、四
特務曹長	二等	七五	八五	六八	一五三	二〇、四
同	一等	八〇	九〇	七二	一六二	二〇、二
特務曹長	特	八五	九五	七六	一七一	二〇、一
少尉		八五（新進）	一四五	五八	二〇三	三三、七
中尉	二等	八五	一七五	七〇	二四五	二八、六
同	一等	九四、一	一九五	七八	二七三	二五、四

長春から新京へ——
今昔物語（一）
貧弱なその歷史
百余年の歷史を辿りて……

長春時代の變遷を記されたものは二、三あるやうではあるが、何れも史實のみでなく、地理あり又產業ありて綴められた歷史的資料のみを記されたものは未だみうけられないやうである、今や新京は新興滿洲國の首都として一躍その名を知られ、新京に在住するものはいふにおよばず、新京を訪れるもの一樣にしてその變遷を知らんとするとき、本社はこれが參考となるべき資料の甚だ貧弱なるを遺憾として、こゝに各方面から資料を蒐め、これを本紙に連載して各位の參考に供せんとするものである、然しながら長春の歷史は新京によつてはじめてその一步をふみだしたのであつて、長春の時代において、これを求めんとすることは、或ひは木によつて魚を求めんとするが如き譏がないでもなく、その點は讀者において諒とされたいのである

新京の史的考察

長春から新京へ……それは僅か百八年の歷史にすぎない古諺に曰く、國亡ひて山河ありと、然れども新京に改名されるまでの長春には歷史を語る何ものもなく、山河の形勢は以て人文の迹を偲ふる由もないが強いて尋ぬるなれば寬城子事件、長春會議がその最たるものであらう建國以來の新京は政治の中心であり、軍事の中心であり、教育の中心であり、更に經濟の中心地ともなつただけに、さきには建國の儀式あり、日滿議定書調印の歷史的場面あり、近くは登極大典の盛儀あり、鄭特使の訪日、秩父御名代宮の御差遣と新京史上でなく、東洋の史上に燦然たる頁をのこすものもかなりあり、而して今後滿洲史にのこされるものゝ大部分は又新京史にのこされるものであらうが、事變前の長春—即ち新京はあまりに歷史に新しく、加へて政治的、軍事的色彩の何ものをも持たずたゞ北滿の純然たる一商業都市たるにすぎなかつたことが多分にその貧弱さを物語つてゐる所謂である

民族關係

滿洲は黑龍江、松花江の流域に國をなし、三千年の歷史を有してゐるといはれてゐるが滿洲國家として而も滿洲民族最初の國家とし支那の史上にあらはれたのは渤海國であるそれ以前の滿洲に關する史實は不明で、察するに彼等は未開の原野に漂浪して遊牧をこととし、極めて原始的な生活を營み時に集團生活をもしてゐたものと思はれる

滿洲先住民族

防空展第一日
朝來押すな押すな
夜は防空映畫觀賞

人類愛善會、滿洲防空協會共同主催の防空大展覽會はいよいよ一日午前十時から室町小學校講堂において開催

＝初日＝だけあつて當日は早くから參觀者は詰めかけた、東一條通側入口には入口整理のため特に新京署員三名が應援に來て愛善會員二名、都合五名の係員が入場券の受附けに轉手古舞ひ十時から十一時まで僅か一時間で受附けた入場券が大バケツ一箇、ボール箱二箇に山盛り、この一時間で約五千人の入場者があつた、そのうち日滿兩國兒童小兒が大半を占め、滿人男女も相當數入場した、會場には愛善會員十名、滿人十名の案內說明者がゐて繪書について詳細な說明をする空には航空會社の飛行機が一台街上の空から防空宣傳ビラ三萬枚を

＝撒布＝する、午後一時からは同校庭で防毒、救護の演習を演ずる、夕刻からは防空宣傳の映畫等々かくて防空展第一日を意義あらしめた

新京放送局で
新中繼用受信機購入
いやな雜音が除かれる

午前六時のラヂオ體操より午後十時のニユース迄間斷なきプロの編成を實施して萬全のサーヴイスに大童の新京放送局では從來東京中繼の放送を受ける受信機は電信用受信機であり雜音多く殆んど聽取に困難の狀態であつたが、今回三萬圓の費用を投じて放送用の短波受信機を購入する事となり、既に註文を發し八月上旬着荷の豫定にて愈々十月より活用の運ひとなり惱まされた雜音も除かれる事となつた尚この結果懸案の聽取料徵收も近々實施の豫定である、無線取締規則と相俟つて十月頃より具體化するのではないかと觀られてゐる

無電工務員 感電死亡

新京無線送信所寬城子工務員大平義晴君は三十一日午後十一時五十分同所緊流機室で就業中感電し、手當を加へたが二時間後遂に死亡した

北鐵東部沿線
列車襲擊事件頻々
卅一日又も脫線事故

【ハルビン國通】北鐵東部線の思想的匪團の計畫的列車襲擊は茲一ヶ月間に二十數件に達し今や同鐵路沿線は思想匪團のため全く蹂躪され危險の絕頂、非常警戒地帶と化した感があるが同匪團の背後には〇〇の魔手が延ばされて居る事は確實となつたが又復三十一日午前四時五分ポグラを發した第九十一號列車が六道河子高嶺子間を進行中匪賊のため線路約四米取外され脫線これが爲第三國際列車は一頓挫に立往生してゐる、頻々たる計畫的列車顚覆事件により日滿官憲は陰謀の根源を突止めるべく大活動を開始した

昨夜一齊に不良狩り

日を追つて全面的に近代都市の容姿を完成しつゝある新京に日每增へてゆくルンペンの數もまた大都市の一面である最近頻々として「籠拔け」「喰逃げ」の訴へを聞く新京署では三十一日午後十一時から倉田司法主任、河本警部補以下全刑事を總動員して全市に亘つてこれら不逞のルンペン狩りを開始し澤山收穫を土產に一日午前二時引上げた右について倉田司法主任は語る

最近花輪司法領事や私の名を騙つて籠拔け喰逃げてゐる不頼漢が非常に多いときくが被害者の方でもよく注意して怪しいと思つた時はすぐ電話をかけるとか適當な方法で眞僞を確めるやう注意して貰ひ度いそうすれば自然と被害も少くなり犯人も無くなることと思ふ

修養團會館竣工

滿洲修養團では北興安路に新築中だつた修養會館がこのほど竣工したので、新築後第一回の向上會を三十一日午後七時から同會館に開いたが、三宅總主事以下男女約六十名出席、修養談に花を咲かせ、今後の會館利用方法その他についても打合せするところあり同十一時すぎ散會した、なほ同支部では來る五日一同打揃つて南新京驛附近に野遊會を催すことになつてゐる

街の回記
山口組 第三錦ビル建設

錦町三丁目在第一、第二錦ビル經營者山口正太氏は工事主任に三澤龜四郎氏を聘し土木請負山口組を設立一般工事請負を爲しつつあるが山口氏は前記第一第二錦ビルにつぎ近日更に隣接地に第三錦ビルを建設する筈である、第三錦ビルは地下室共五階建四十三室を擁し工費七萬圓十一月中旬竣工の豫定で山口組の前途囑望せられてゐる

康德洋行擴張移轉

日本ゼネラル、モータース自動車滿洲國關東洲總代理店として從來三笠町四丁目に營業中の康德洋行は過般來入船町二丁目三一番地日貫の場所に店舖新築中の處此程竣工し新店舖に移轉した同店の取扱はカデラツク、ラサール、ポンテアクオールヅモビール、ペツトホード貨物車等の優秀品で支配人西澤四郎氏の敏腕に俟ち同店の活躍は期待せられてゐる

滿洲をどり流行

全滿洲を表徵する吾等の「滿洲をどり」なるコロムビアレコードが愈々數日前より一齊に發賣され滿洲の代表歌として頗る好評を博してゐる、歌は明るく曲は朗らか之に踊りは簡單で老若男女誰にも容易に踊れ彼の櫻音頭に勝る出來榮えである、コロムビア社では大連河島支店長以下之が宣傳に大童であり葭町二三吉の吹込小靜富奴の三味線新京を第一詞とし大連を最後に四通コロムビア近來の大傑作豪華盤として好評を博してゐる

けふの銀相場

鈔票對金票	一一五〇七五
現大洋對金票	一二四八一
國幣對金票	一〇九二二
現大洋對鈔票	九六〇六〇

大黑河の對岸から毒瓦斯撒布か
上流呼瑪縣城に奇病發生

【チチハル國通】當地某所に達した情報によると大黑河の上流呼瑪縣城は人口約四百を有するが去る十五日その約三分の一に當る百五十名が突如病名不明の奇病に襲はれ輕きは三、四日重きは一週間程で全快したが、該病狀は鼻・口等が痲痺し呼吸困難となり猛烈なる頭痛を訴へガス中毒者と同樣の症狀を呈したので果然對岸ウシヤコフ方面よりソ聯側が毒瓦斯を放撒したに非ずやと一時は大動搖を來した當局に於ては目下嚴重原因調査中である

ソ聯機數機 國境線を飛翔

【ハイラル國通至急報】當地着報によれば去る二十九、三十兩日に亘り滿洲里國境線に添ひ北方よりソ聯機數機が飛ひ來り、南方國境に機影を沒したと云はれ國境の町にあはたゞしい話題を捲起してゐると、尚國境監視兵に於ては明らかに一機が國境近くに飛翔したるを望見した旨確報があつたが、詳細は目下取調べ中で今明日中には眞相判明せん

鞍山滿鐵病院の陳醫師 謀られて射殺さる

【鞍山國通】鞍山滿鐵病院外科醫陳鴻鈞氏は卅一日午後四時急病人ありとの通報に接し出診し鞍山中學校附近に差しかゝるや十數名より成る匪賊の一團現はれ陳氏を人質として拉致せんとするや陳氏は謀られたと知り逃走せんとすると匪團は陳氏を追つて格鬪、遂にピストルを以て陳氏を射殺した、鞍山警備の守備隊及び警官隊は急を聞いて出動目下匪賊團に向つて包圍攻擊中である

北安鎭で 邦人請負業者拉致さる

【北安鎭國通】德島縣三好郡生れ北安鎭北三道街請負業平尾道雄氏は去る二十七日大連より北安鎭に歸る途中午後三時四十分海北鎭に下車して徒步にて東方二邦里の滿人の宿舍に宿泊中午後九時頃匪首鳳好の率ゆる五十名の匪賊に拉致された、目下匪賊は海北鎭東京陸店附近に居るらしいと

寧安附近で 廿名拉致さる

【ハルビン國通】卅日午後三時頃北鐵東部線 安の東南約三里の地點に於て雜貨を滿載して新安鎭に向ふ滿商の馬車七臺は約百名の匪團の襲擊を受け、掠奪された、尙同匪團は 安城內に侵入し鮮滿人約廿名を拉致し、新安鎭警察署分署より警官十數名急行救援に向つたが詳細目下不明

奉天窮民 施粥の繼續デモ

【奉天國通】三十日市政公署に赴いた城內外居住の窮民約二百名は卅一日午前九時頃より奉天省公署に押寄せ、施粥の繼續方を求め、久米總務廳長に面會を嘆願して來たが戴民政廳社會股長の說明で午前十一時半引揚げ、再び市政公署に赴いた、嘆願の理由は從來一萬九千圓の豫算を以て奉天各處に施粥處を設け貧民を救濟して居たが、該豫算は三個月で打切りとなり、其後は省長の個人的救濟に仰いで居たものだが、それも杜し絕明日よりの飯に窮するといふに在る

平綏線又復不通

【北平一日發國通】平綏線張家口、大同間はさきに大雨のため不通となり漸く修復開通したが二、三日前又復綏遠省境一支里ばかり大破、三十一日卓資山以北の驛への切符發賣を中止した、修復には數日を要する見込み

上野秘書處總務科長歸省

總務廳秘書處總務科長上野魏氏は先般來健康を害し療養中のところ、やゝ快方に向つたので、靜養のため一日午前九時發ハトで日本に歸省した

仙人掌

▲ミス新京の愛子この前仙人掌子は最年少者のチヤキチヤキだとさゝやいたがどうしてどうして一ケ月の間に隨分達者かになつた▲この頃とても朗かになつだがそれもその筈〇〇部のアーさんが每晩拜見に來るんだつてサー▲こゝのスマ子に光子は二人揃つて星ケ浦へ避暑としやれてゐたがこの程相談相手にターさんを大連から連れて來たそうですゾ？▲スマ子は大連の生れが體に合はなかつたと見えて少し腳氣氣味があります、スマ子さん喰ひもの飲みものに注意しないと御氣は治らぬよ▲東洋軒の愛子この間患つて四五日姿を見せないのでヨーさんが心配すること傍で見てゐても氣の毒なくらゐ▲お見舞を持つて行かうか行くまいかでひとり惱んでゐる中に元氣な愛子になつてしまつたほどウブな二人です

新版 江戸八景　行友李風 脚色作　穗積平他二氏畫

一二〇

根岸の寮 二六

日岐武志

氣狂ひ寮（二）

それから半時ほどのちのこと、金助とお粂は、御隱殿裏の眞ッ暗な田圃路を、歩いてゐた。

「ね、金さん。どこまでゆくつもりなのさ。眞ッ暗で、氣味がわるいぢやないの」

「お前も、明るいところぢや威張るが、暗いところへきちや、から意氣地なしだの」

「だつて、この路をゆくと、あの氣違ひ藪へ行つてしまふぢやないか」

お粂は、あたりの暗さにおぢけづいたものか、それとも不氣味な記憶を呼び起したものか、ぶるッと身をふるはせた。

「ははは……」

金助は、笑つた。

「ぢや、お前、あの娘を氣狂ひ寮へ押込んでしまつたのかえ」

「まあ」

「まづ、そのへんだらうの」

お粂は、さすがに驚いたらしい。

おのれのかなはぬ戀の意趣晴らしに、昨日迄の仲良しを、人も寄りつかぬ氣狂ひ寮へとぢ込めてしまつたのである。

さる豪商のお圍ひ者が、氣が狂つたので座敷牢を作つて入れたが、血を吐いて狂ひ死んだといふ――

それ以來根岸に氣狂ひが出きると此寮へとぢ込めたものであつたが、里の人々は次第に寄りつかないやうになつて、今は、極道あがりの老爺がたつた一人、因果にも住つてゐるといふ。――その、氣狂ひ寮。

「ところもあらうに、氣狂ひ寮などへ。金さん。あたしや、なんだかお前といふ人間が、怖くなつてきたよ」

「お粂、おめえも浮氣をするとやつぱりこゝへ連れてくるからの、さう覺悟してゐねえよ」

「ふんだ。おまえが浮氣した時は、どうするのよ」

「その時は仕方がねえの、おいら、じぶんでこゝへ入らうぜ。その代り、浮氣の相手を連れてこようかいの」

「ふん、ご勝手に」

眞ッ暗な夜空を、何鳥か、キキキキキと不氣味にないて飛び去つた。

「ね、金さん。もつときつく抱きかゝへておくれよ」

「おめえ、すつかりおぢけづいたの。もうすぐそこだ。我慢しねえ」

「こわかないけど、醉ひがさめたせいか、冷えてきたやうなのよ……」

「どつちでもええわさ。な、お粂、かんがへてもみなよ。おいらにとつちや、お里は恨みも損得もねえ娘だぜ。そのお里をこんなところへ連てきたのは、いつてえ、誰のためだとおもふかい。みんなおめえ可愛いばつかりにしたことだからの」

「でもさ、ところもあらうに、氣狂ひ寮へなんぞ――」

「そこはかんがへやう一つさ。吉原か千住さへ叩き賣つたとしたらどうだい。こゝの方がどれだけましかしれねえ」

「それも、さうだね」

「男を取られた向つ腹ぢやねえか、うんと苦しめて、溜飲を下ようといふものさ」

「ほんとに、あの娘、思へば思ふ程、憎い娘だね」

「さあ、着いた。こゝだぜ」

見れば、さだかにわからないが、くづれかゝつたやうな藁屋根の家が、黑く不氣味にしづもりかへつてゐた。

△……

△……」

八月二日 木曜　六月二十二日 乙巳　先負　開　斗宿

●一白の人　衛生保健に注意すれば他の事は穩かなる日　申と丑と寅が吉
●二黑の人　早合點は手違ひを生じ易し熟慮を要する日　丁と壬と寅が吉
●三碧の人　機に乘じて躊躇せざれば勞少なく功多き日　甲と丁と辛が吉
●四綠の人　心浮動して萬事取り止めなき日移轉旅行凶　辛と亥と寅が吉
●五黄の人　過大の望みを起して却て取り返しの付ぬ日　甲と庚と辛が吉
●六白の人　勞苦を惜まず働くが勝思案に耽るも功なし　乙と丁と申が吉
●七赤の人　薄志弱行は更に窮境を漂ふべし病難に注意　庚と辛と寅が吉
●八白の人　人より意外の誤解を招くことあり口入注意　甲と癸と寅が吉
●九紫の人　家道振作の日進んで吉なるも口舌を避けよ　巳と亥と癸が吉

大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊　本紙夕刊共八頁

發行所　新京日日新聞社
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　谷啓二郎

余りの白白しさに滿洲國決意を固む
ソ聯機の越境抗議回答に
今や默する能はず

七月十六日ソ聯軍用機國境線を越へ約六キロのポクラ附近に至り折からの晴天に乘じ露骨な低空偵察、寫眞撮影を爲した人も無げなる不法行爲に對し滿洲國政府は直ちにハルビン總領事及綏芬河領事を通じソ聯政府に嚴重抗議せるは既報の如くであるが三十一日に至りハルビン總領事スラウツキ氏は外交部北滿特派員施履本氏に對し

本國よりの回電によればソ聯飛行機は越境の事實無く回答の遲延は愼重調查の結果なりとて例によつて空とぼけた回答を爲した、よつて施特派員は

如何なる方面、如何なる方法によつて調查せりやと反問したに對しス總領事は『ポクラ方面飛來の可能性ある同方面同飛行士に就て調査せる結果なり』と白らばくれ、施特派員が當時の明々白々なる事實を指摘するやあくまで反駁強辯するのみならず最近駐日ユレニエフ大使は日本側に對し日本飛行機の越境に就き抗議したる筈なりと稱し見當違ひの答辯を以て事件そのものをカムフラージせんとする等ソ聯の極端なる無誠意振りを遺憾なく曝露した、滿洲國政府は右の如きソ聯の驚くべき無誠意に痛く憤慨し、殊に當日現地にあつて事實を目擊した筈の駐ポクラ蘇聯領事の不都合なる態度は默視し難きものとして斷乎有効適切なる手段に出る決意を固めた模樣である

極東ソ聯軍
北鐵從業員戰時服務規定制定

當地某所に達した情報によればソ聯邦は目下國境防禦陣地を構築、軍備、兵器等の充實を圖り開戰に備へてゐる、更に最近北鐵從業員に對して戰時服務規定を設け軍人章定を制定して十八才以上四十五才迄の男子に軍事敎練を、廿五才以下の男子は爆彈投下その他の戰時の訓練をなし成績優秀な者に對しては總領事より「功勞と防禦」を表示したメタルを與へるなど極端な戰爭氣運をかもしてゐる、なほ寬城子在住ソ聯人に對しては萬一の場合を考慮した秘密工作の命令を發し各驛構內給水塔、電燈廠、電信電話各機關、鐵道橋梁その他の交通機關を目標とした重大任務を命じた模樣である

思想方面から
滿洲攪亂の大陰謀
南京政府の目論み

南京政府は最近對滿工作の積極的活動を開始し北平軍事分會より多數の情報工作員を滿洲國內に潛入せしめ一方張學良は講武堂教官、卒業生、學生を派遣し、蔣介石の直系結社である藍衣社よりは峻銳なる社員を派すなど滿洲攪亂に全力を注集したが失敗したため近來は思想的方面より滿洲國攪亂を企圖するに至つた

無電による攪亂

去る六月二十八日開催された第百二十七中央黨部常務委員會の決議により內蒙古各地にラヂオ受話機百二十台、滿洲國各地に百三十台を設置し南京放送局よりこれら受信機を通じて蒙古民族並に滿洲國人に呼ひかけ反滿思想宣傳を企圖することとなつたが、滿洲國內では同國政府の干涉を防ぐため主として回教情眞寺及びキリスト教々會堂內に設置する模樣である

宗教による攪亂

回教徒による反滿工作を企て回教布教師文學博士馬道空を中央特派東北回教徒宣慰大使として派遣に決定、馬は去る七月五日南京を出發、上海より大連に向つたが馬は各地回教寺院情眞寺において拜主會を行ひ、これを利用して反滿宣傳をなすものとみられてゐる

陸軍異動と滿洲關係

【東京國通】陸軍異動滿洲國關係の分左の如し

關東軍司令部附　少將　小松原道太郎
補參謀本部附
滿洲醫科大學服務　步兵大佐　池田武
補○○○○隊司令部附

陸軍異動中關東軍關係の其後入電に依れば、騎兵○團參謀石本寅三騎兵大佐は關東軍參謀となり、喜多大佐の後をを襲ふ事となつた、野戰重砲兵七聯隊長安藤麟三砲兵大佐が軍司令部附となり、騎兵第七聯隊附池田三一一等主計が軍司令部附、第十六師團經理部々員谷村光春一等主計が關東軍經理部々員となつて來往する、關東軍部內から出て行く方では交通監督部西原貢一等主計正の第九師團經理部々長がある陞任の人々では泉鐵翁原弘志、軍司令官副官の今村宗四郎及び情報擔當の寺田秋三の四大尉は少佐に陞任した

支那關係

【東京國通】陸軍異動支那關係の分左の如し

支那駐屯軍參謀長少將　菊地門也
補舞鶴要塞司令官
支那駐屯軍參謀少佐　大橋熊雄
補陸軍大學研究部員
支那駐屯軍司令部附少佐　落合甚九郎
補第二師團參謀
支那駐屯軍司令部附　輜重兵少佐　江崎義雄
補陸軍士官學校勤務
參謀本部支那課長　步兵大佐　酒井隆
補支那駐屯軍參謀長
參謀本部員　砲兵少佐　大木良枝
補支那駐屯軍參謀
參謀本部附　步兵少佐　鵜田登實
補支那駐屯軍司令部附
步兵中佐　落合鼎五
補支那駐屯軍司令部附
步兵中佐　松井源之助
補支那駐屯軍司令部附

新見中佐四方大尉ともに進級

八月一日發令の陸軍定期大異動に伴ひ進級する憲兵將校中關東憲兵隊司令部に於ては、新見中佐の大佐進級及び四方大尉の少佐進級である

喜多大佐參本課長に榮轉

一日發令の陸軍大異動で關東軍參謀喜多誠一大佐は參謀本部課長に補せられた

鮮、滿人紛爭解決に地價查定委員會設置
＝規則その他目下起草中＝

【奉天國通】最近鮮人移住者の激增に伴ひ各地に於て土地問題による鮮滿人の紛爭を釀し、双方の感情著しく惡化しつつある現狀に鑑み、寧安縣に於ては不祥事件の發生を憂慮して圓滿なる解決方法として公平なる地價の查定を行ふ必要ありとなし、今回縣公署、領事館、憲兵隊、商務會、農務會、日鮮民會等の代表者集合、協議の結果地價查定委員會を設置地價の查定を爲す事となり、目下規則其他起草中であるがその成果は期待されてゐる

臨時產業調查局設置

實業部では國內產業政策樹立の爲產業各部門に亙つて基本的調查を行ふべく部內に臨時產業調查局を設置する案を樹て、過般來國務院と折衝を重ねてゐたが、此の程大体官制の作成を見目下法制局に於て審議中であるが、一日午後一時より實業部會議室に於て高橋總務司長以下關係者參集右產業調查局設立に就き第一回聯絡會議を開催し種々具体的協議を爲した

滿鐵運賃の引下げを建議
商工會議所が各省へ

（東京國通）滿洲特產輸出を增進、日滿經濟提携促進に滿鐵運賃引下げ實施は必須なりと爲し商工會議所は關係各省へ建議を爲すに決した

陸軍異動評

【東京國通】一日發令された陸軍定期人異動は實質的に見て林陸相就任後最初の人事行政に對する腕試しであるため各方面から注目されてゐたが陸相は滿洲方面の人事は出來るだけ、頻繁なる異動は避けるべき非常時局に備へて國隊長の人選には特に人格德望に重點を置いてゐる、松井臺灣、川島朝鮮兩軍司令官の軍事參議官轉補、その後任として植田中將が朝鮮軍司令官に、寺內中將が臺灣軍司令官にそれぞれ榮轉した事は順序であつて寺內中將もこれで大將が豫約され父子二代大將が續く譯である

△杉山航空本部長（福岡）の參謀次長乘大學校長轉補は最適任者と云よへう、同中將は現在第十二期生のトップヌーボー式であるが一面細心であつて宇垣陸相の下に軍務局長、次官などして關係上宇垣系と見られてゐたが荒木前陸相のとき第十二師團長より航空本部長に拔擢され、いま亦榮轉し英氣を養つてゐれば、軍令、軍政に亙つてをしもをされもせぬ第一人者としての折紙はつけけれてゐるから、自重すれば將來を期待されやう

△橋本次官（東京）は部內隨一のロシア通で外柔內硬ーハメ虎の異名を以つて部內で畏怖されてゐる、某事件については部內靑年將校崇敬の的であつた、柳川次官と同樣直情徑行是と信じたが最後一步も後へ退かぬ氣質である、溫厚な杉山中將の參謀次長とのコントラストは今回異動の白眉である

△秦第二師團長（福岡）は憲兵司令官として隨分惡評を蒙つた、今回の榮轉に關しては部外は云はずもがな、部內にも相當非難は高いがせいぜい最後の御奉公として軍務に勵精すべきである

△外山第九師團長（和歌山）は第十二期の軍刀組で停年序列は杉山中將の次にあるが昭和七年一月憲兵司令官として櫻田門外の不敬事件の責任により臺灣に左遷されたもので師團長に到底浮ひ上れぬものとされてゐたが、人格廉潔の士であるため林陸相に拾ひ上げられたものでまづ運と云ふ外ない

△古莊第十一師團長（熊本）は第十四期のトップ軍刀組である將來の三長官は間違ひないものとされこ居たが先年輕い腦充血で倒れて以來、兎角健康勝れず往年の意氣は失せた樣である、健康が許せば今回の異動では當然次長次官の要職について居たであらう

△堀航空本部長（奈良）は去る三月の異動に總務部長から所澤飛行學校長に轉出したばかりで廣瀨大學校長の突然の死去によつておはちが廻つて來たものとみられる、才氣煥發で物事をテキパキと進めて行くが航空本部長は少し榮轉し過ぎたやうである

△今井參謀本部第一部長（愛知）は大器で所謂部內の[illegible]崎、荒木系、南、阿部系どちらにも信望があり、將來大成の可能性があり國際危局を控へる重大時期の我が陸軍作戰部長としては最適任者であらう

△田代憲兵司令官（佐賀）は士官學校第十五期生で部內有數の支那通、上海事變には白川大將の下に參謀長であつた、剛直なことは部內で定評があり、嚴正公平な人格者であるから前司令官秦中將の如き惡評を蒙る恐れは絕對にないであらう

其他臺灣守備隊司令官（佐賀）は無天組として出世と云ふ他はない德川好敏男（東京）の所澤飛行學校長は同校の生みの親とも云ふべき人で航空部隊の大擴張が計畫されて居る際の最適任者である、山下奉文少將の兵器本廠附は橋本次官を補佐するため一時陸軍省勤務となつたものである

△橋本軍事課長は第廿期のトップ、從來は殆んど參謀本部にあつて軍令系統の出身である特科出の軍事課長は井上幾太郎大將の工兵、奈良武次大將の砲兵出身以來珍らしい事である、技術本部長緖方大將森第一、荒蒔第九、原田第十一各師團長の待命は順序で不滿はないであらう

讀者の聲
實力者に呈す
漣閃之助

實力本位とかの言葉を縱横に振り廻はして、大いに町人共の血を湧き立たせた御仁がある、成程いゝ意氣だ、しかし乍ら吾々無學歴者（無智に非らずあくまで無ガクレキ）は最後迄[illegible]、實力本位等鼓吹するより先づその實力（學識卓見人格高峻）を以てハンコを捺した證書をいたゞくべきである、これは笑止の沙汰ではない、眞個なのだ、黒板の上の理論とか机上の空論とか散々けなして置き乍ら最後に、學校出身を惡く言ふのじやないナンテ卑怯も此處まで來ると責める氣にもなれない何と喚いたつて嗤つたつてまだまだ所謂實才知識が所謂机上の空論（あくまでイハユルだ）に太刀打ち出來る日は來ない、何故なら机上の空論が空論でないからだ、吾々は默つて、到底及ばないだらうけれど、彼等こ伍すだけの空論に非らざる空論を究むべきなのだ

犬の遠吠え的な事はどうも小さい小手先が見え過ぎて情ない

「學問を求める者は、毎日世界の眼の前で大きくなつてゆくまことの智を求める者は毎日だん／＼小さくなつてゆく彼はすべてのものに對する謙讓に達することの出來るまでますます小さくなつてゆく、彼がすべてのものに對する謙讓に達した時成し遂げ得ない何物もない」つて言ふ樣な事誰か言はんだつたかな

財政部だつて何も實力を顧みずやつたのではあるまいと思ふ、當一番手つ取り早く、選拔されたる中から、また實力ある士を選拔したに過ぎない、實力者は實力を以て登れる道がある、それには默つてホントウに默つて眞黒い鋼鐵のスプリング見たいな潛んだ力を養はねばならないハイカラな言葉で言ふと「アビリテイー」がない奴は形式的な役階を昇れないといふ事になるつまりその「アビリテイー」なるものは、只に學士だけでなく町人にでも與へられる組織になつてゐる一途に「學識卓見人格高峻」なるこのテンサイを見捨てやがつたナ等と憶測しないことだ、競爭は激甚！文化の改新頃とは一寸違ふ

實力は實力でも社會的に認められない實力は、その人自身の小さい心の満足でしかない

滿洲國協和會新陣容を整ふ
現地第一主義に基づいて
新工作愈よ本格的

滿洲國協和會では新工作方針として現地第一主義を以て當ることゝしさきに事務長會議を召集して、これが機構改革並に新豫算配分その他を決定したがその結果いよいよ各事務局の新陣容を整へることゝし各事務局事務長の人選を左の通り決定、八月一日附を以て發令された

中央事務局　矢部遷吉
新京　伊藤信夫
哈爾賓　赤嶺義臣
齊々哈爾　（未定）
海拉爾　鈴木鎌吉
依蘭　淺野十郎
吉林　高須祐三
間東　有馬善夫
奉天　（未定）
熱河　佐田直澄

なほこれとゝもに從來各委員が各事務局の事務分擔から離れて各委員は中央にあつてその大綱に參與し、各事務局の事務一切は各事務長の權限に委ねられることゝなつた、なほ今回の計畫は例の局員費消事件とはなんら關係がなく、前月來の懸案がこゝに實現を見ることになつたわけで、これを楔機に現地第一主義の全面的新工作が愈よ本格的に開始される段取である

機構改革につき山口次長語る

右について中央事務局山口次長は語る

從來各委員は各地方事務局を分擔して、それぞれ事務を主宰してゐたが、これは委員として自分の擔當區域に偏して、稍もすれば中央としての大綱方針を誤る弊がないでもなかつたが今後は事務一切を純留務職員である各事務長に委せ豫算もそれぞれ適當に配分することになつたのだから、現地第一主義に基づいて思ひ切つた活動が出來る積りである、なほ從來中央事務局には事務長がなく紀井君（前中央事務局總務處次長）が當つてゐたが、今度は新らしく奉天の矢部君を迎へることになつたが、人望ありまたなかなかの手腕家で蓋し最適任者と思ふ、なほ紀井氏は今後專ら委員として働いて貰ふことになつた

獨大統領危篤

【ベルリン卅一日國通】ノイデックの別莊に靜養中のドイツ大統領ヒンデンブルグ元帥は三十日夜突如容態惡化し既に危篤に陷つたものゝ如く三十日午後ドイツ政府の某高官は左の如く語つた

ヒンデンブルグ元帥の容態は既に危篤にあるものと觀ねばならぬ、從つて遺憾乍ら我等は最惡の場合に對する準備を整へなければならなくなつた

後繼者に前獨帝の愛婿說

（寫眞はヒ大統領）

【ベルリン卅一日發國通】ヒンデンブルグ大統領が危篤に陷つたので早くもその後繼者が話題に上つてゐるが右に關しては目下前皇帝ウイルヘルム二世の愛婿ブルンスウイツク太公が最も有力な候補者として擧げられてゐる

ハルビン稅關の再輸入課稅に廢止請願

ハルビン稅關に於ては輸入貨物（既に國境稅關に於て輸入稅納稅濟のもの）の證明書を有するものまたは證明書を有するも改裝、詰合せをなしたるものに對し再び輸入稅をかけ、また土貨（國內生產貨物）に對し轉口稅を課しつゝあるが、ハルビンよりの各地向け輸送の貨物に對しては一切徵稅せず松花江による沿岸貿易業者の不便鮮からず、これがため商工會議所に於ては十七回聯合會の決議としてこの不合理なる徵稅を廢止されたき旨、關係各方面に請願するところあつたが滿洲國當局としてもこれが對策に就ては充分考慮するものと觀られてゐる

滿鐵理事擔當個所內定

【大連國通】新任理事任命に伴ふ擔當個所の決定は正副總裁間に內定を見たが、鐵路總局長、經濟調查會委員長、炭鑛會社理事長の椅子は軍部方面の諒解を得る必要上三十一日八田副總裁は新京に赴きこれが折衝を行ふが、取敢へず一日林總裁より左の如く內命が發表された

郡山理事　地方部
佐々木理事　商事部
宇佐美理事　鐵道部建設局
山西理事　計畫部撫順炭坑

尙經濟調查會委員長は山崎理事、鐵路總局長は宇佐美理事、炭鑛會社理事長は山西理事又は佐々木理事となる模樣で軍部との折衝の結果兩三日中に發表と觀らる

宇佐美新理事ハルビンへ

三十一日來京の滿鐵新理事宇佐美寬爾氏は一日午後九時四十五分發列車でハルビンへ向つた

偶語

國防の第一線は防空にあり、をモツトーに防空展、映畫公開、防空演習などの催しが、昨一日から室町校內で盛大に行はれてゐる▼將來の戰爭は科學の進步、航空術の發達につれて、空襲戰が第一であることは、誰しも認識するところ滿洲事變において、わが空軍の目覺ましい活躍は、實に敵軍脅威の的であつたものだ▼そこで敵空軍の來襲に備へる吾等の防備は如何に？いはゆる一九三五、六年の危機を控へて、もしもの場合全國民があへて狼狽しないだけの準備と訓練を平素から十分用意しておく必要がある▼凡そ戰爭はたゞ軍部の力にのみ頼むべきでない、銃後の人々もともに全國民協力一致して、はじめて最後の勝利が得られるのであり殊に空襲戰においては尚更らにその必要を痛感するこゝに今回の催しの本質的意義があるわけだ▼通日の降雨で多少潤つたのが新京水道、今のところ斷水騷ぎもなく、給水狀態も極めて順調にいつてゐるやうだが、更に第五水源地の假給水が來月十日頃から開始されると、これで全く不安一掃の段取となる▼何をおいても肝腎の水を缺いでは吾等の生命線を脅されるだからこのうへとも水源地施設の完璧とゝもに、吾等もまた使用水の亂用については愼まなければならない

天氣

天氣	南西の風曇り時々雨
氣溫	最高二十七度一　最低二十度三
日出	前四時二十七分
日入	後七時〇二分
月出	後十時十分
月入	前〇時三十二分

團体

▲神戸商業學生二十名一日午後一時五十五分來京太陽ホテル投宿、二日午前八時三十分發哈市へ四日午後三時二十[illegible]歸京同日午後四時三十分發南行
▲大阪外語蒙古科生八名一日午前七時來京[illegible]滿旅館投宿二日午前八時卅分發哈市へ
▲彥根高商生六名一日午前七時來京二日午前八時三十分發哈市へ
▲鹿兒島高等農林學生十三名一日午前七時歸京哈市から同日午前九時發南行
▲岐阜縣滿洲見本市十五名一日午後七時三十分歸京吉林から同日午後十時發南行
▲名古屋高商生二十名一日午前六時來京旭ホテル投宿二日午前六時三十分發吉林へ同日午後七時三十分歸京三日午前八時三十分發哈市へ
▲兵庫甲陽中學生二十七名一日午前六時來京同日午前八時三十分發哈市へ二日午前七時歸京同日午後四時三十分發南行
▲井生會滿洲旅行團三十名長春寺投宿中二日午前八時三十分發哈市へ三日午後三時二十五分歸京同日午後四時三十分發南行
▲京都第一商業學生三十名二日午後一時五十五分來京太陽ホテル投宿三日午前六時三十分發吉林へ同日歸京同日午後十時發南行
▲大阪茨木中學生四十名三日午前六時來京同日午後四時三十分發南行
▲布哇母國見學團四十六名三日午前六[illegible]來京太陽ホテル投宿四日午前十一時三十分發南行
▲大久保龍男氏（長崎商工會議所議員諸會社重役）共生會日滿結染後三十一日午前七時新京着八月二日午前八時三十分發列車でハルビンに向け出發の豫定

人事往來

▲阮振鐸氏（國都建設局長）三十一日午後四時三十分發大連へ
▲河本大作氏（滿鐵理事）三十一日午後七時三十分着大連から
▲八田嘉明氏（滿鐵副總裁）一日午前七時着大連から
▲小川順之助氏（大連市長）同上
▲大野遞信局長（關東廳）同上
▲村田社長（滿日社）同上
▲染谷保藏氏（本社代表社、盛京時報社長）三十一日夜來京
▲後宮淳少將（前關東軍司令部附）參謀本部第三部長に轉補され一日午後十時發列車で出發赴任

演說會中止につき
市民各位に告ぐ

我が社が「打倒協和會」の筆陣を張りてより號を重ぬること七、その銳鋒愈々冴え、同人の意氣益々軒昂遂に各位の熱誠なる御聲援と御支持の下に街頭進出を決意しその初一步として昨七月三十日協和會批判大演說會を新京高等女學校講堂に於て開催し、淨化運動の聖烽たらんとしたのであつた

この日新京全市に亙りて朝來異常の雰圍氣の漲るものがあつた、辻々に貼り出された演說會の宣傳ビラの前には來ては佇み、讀み了りては去る三々五々の人々の群れ陸續として絕ゆる間もなく、一方本陣たる滿洲改造社に在りては、ハルビン、吉林、奉天、大石橋、チチハル、安東、大連その他各地の同士より寄せらる激勵電、血のにじむが如き文字を以つて綴られたる感謝電正に山積、他方市中の未知の人々より受くる鞭韃の電話亦應接に遑なきまでに頻々たるものがあつた

而して午前中協和會に對し立會辯士の出演を慫慂せしも絡ひに拒否し來つた

午前十一時高木社長を陣頭に自動車班の全市街に宣傳ビラ撒布に決り士氣彌が上にも高調し、各地より馳せ參じたる應援辯士も既に勢揃ひありたる時、午後二時を過ぐる若干分

突如！奇怪といふか不埒といふべきか、既にして使用を快諾し貸與濟みの女學校講堂の使用を拒絕し來つたのである

吾等は事の意外に驚き且つ事極めて重大なるを慮り直ちに社長自ら學校に馳けつけ單に演說會中止が我が社のそご若くは蹉跌なりとせば又何をか謂はん、然れども既にして市民大衆に呼ひかけ宣傳廣告を了したる後この事あるは最も遺憾なりとして、その容易ならざる點を諄々と懇談せしも如何せん頑として肯ぜず、終ひに會場使用は不能の止むなきに立到つたのである

その交涉時間長引く裡に最早開會の定刻は切迫し、聽衆の女學校前に會するもの前後數百名、茲に於て高木社長は會集に對つて簡單に事の此處に到れる顚末を報告せんとせしも之れ又臨場警察官の中止命令に遭ひ、一場の挨拶すら陳べ終る能はざるの狀況であつた

是はもとより我等の不德の致す所にして、此點各位に陳謝する所であるが、そのよつて來れる眞因に思ひを及ぼすとき亦言ひ得べからざるの感こな久うするものがあるかくした解散を宣告されて一と先づ歸社するや同情同感の士陸續として來訪され或は四五、又三四十名或は協和會に買收されたるやに非ずやと謂ひ、或は滿洲改造社の腰弱きを難詰さるゝなど吾徒は其の熱情至誠の人々を直視し我等の責務の極めて重大なるを更らにより深く感銘せしめられた

紙上極めて單簡なれども演說會中止の止むなきの事由を具陳し、各位の御諒恕を乞ふものである

尙我が滿洲改造社は所期の目的貫徹と本來の使命遂行の爲め破邪顯正の陣營愈々結束を鞏固にし捲土重來各位の御期待に副はんことを此處に聲明する

昭和九年七月三十一日

滿洲改造社

新設水源地の工事續々竣工

こゝ十日間に二千トン増水　けふから給水開始

市外楊下樹に新設中の臨時假設井戸二個はこのほど竣工し二日から百三十トン、五日から百七十トンの給水が増すことになつた、なほ連日の降雨のため遲れた張家楊に新設の第五水源地假給水も、北鐵クロス工事がいよいよ一日から着手したので、このまゝお天氣がつゞけば六日間で竣工の豫定で、あと三日間洗管をなし七月十日頃に送水の見込である、この給水量千トン乃至千二百トン、また同水泉第一號井戸は大体五日までに工事を終り、これも十日頃に送水の見込で二百トン乃至二百五十トン、第二號第三號はそれより遲れて九月中には竣工の見込であ、るこれらを合して都合二千トンがこゝ一週間乃至十日間に増える勘定で、現在の毎日七千五百トン程度から一躍九千五百トン程度に上るはずでなほ第五水源地工事は當分假給水として、このまゝ順調にゆけば九、十日までに完全に竣工の豫定である

日滿無線電話

けふから一般開通　電話局利用方宣傳

待望久しかつた日滿兩國間の無線電話は一日をもつて芽出度開通しいよいよ本二日から一般の通話に應ずることゝなつたが、通話料は豫定通り一通話（三分間）七圓である、この無線電話は陸線の關係上原則として長距離電話加入者のみとなつてゐるが、新京、ハルビンの電話加入者は普通電話でも通話申込みができることゝなつてをり新京電話局では一日早速大使館總領事館滿洲側各官廳、および銀行、在京各新聞通信社等比較的需要の多い八十八加入者に對して明日から日滿通話の取扱ひを致します何卒御利用下さるやうお願ひ致します詳細は當局にお問合せ下さいといふ同文電報を發した、不明の點は電話局交換係に問合せられたいと

鐵道事務所で驛辨を無警告で檢査　さてその結果は果して？

新京鐵道事務所では立賣驛の飲食物使用器具には一層清潔に取扱ふやう監督してゐるが最近の如く惡天候と炎暑が續くので立賣辨當にいかがはしいものでも賣る驛があつてはと二日連京、安奉兩線の主要驛から無警告で一個宛辨當をとり寄せ中味包裝など詳細に亘つて調査試食を行ふ連京線は大連、瓦房店、熊岳城、大石橋、遼陽、奉天、鐵嶺、昌圖四平街、公主嶺の各驛から大連二日發第十五列車（新京三日午前六時到着）で、安奉線は安東、鷄冠山、橋頭各驛から二日安東發第一列車の各旅客專務車掌に依頼して取り寄せると

日滿無線電話の開通式

日滿兩國民の多年の宿望であつた日滿無線電話は今回新京無線局の完成を見たので八月一日我通信界に記念さるべきこの歷史的開通式が新京ヤマトホテルに於て日滿兩國總理大臣の挨拶を始めとして關係大臣其他名士三百余名參列の下に盛大に擧行された、寫眞＝（一）岡田首相の祝辭を聞き入る各要人『左より田邊參議、鄭總理、山内總裁、張實業大臣、八田副總裁、前列丁交通大臣、菱刈軍司令官』圓内は丁交通部大臣の祝辭

簡閲點呼に見る新京の種々相

兵事係の苦心

新京に於ける本年度關東軍簡閲點呼は去る二十七日から新京商業學校で執行され、三十一日までに新京警察署管内約三分二を終了した、一日は新京總領事館管内の殘部、二日、（三日は休務）四日は新京警察署管内（鄉軍第三、第四分會の大部）のものについて行はる、點呼は毎日午前八時參會者整列したる上執行官本間中佐莊重な態度に、いとも嚴肅な口調で點呼執行を宣告し補助官、教練助教助手、事務助手の命課型の如く呼名點檢閲兵、奉公袋の檢査、各個教練、部隊教練 分列、銃、銃劍を以てする銃劍術、短劍術、軍事學等僅かの時間に眼の廻るやうな教育指導を終つて勅諭勅語の奉讀式、精神講話を兼ねたる軍事講演 軍事學の教習、訓示（本内容は軍機に關することもあるので省く）最後に在鄉軍人會會歌を合唱し僅々半日なるも宛然兵營に在りて現役に服するの感情に於て終始し午後一時散會を宣せらる

○事變前は一日か二日であつたのが昨年は四日間本年は八日間となり新京の發展振りが如何に超飛躍的であるか想像に難くない

○參會者の成績は一般に良好で在留状況とは打つて變つた状況を呈してゐる

○五日間總領事、警察署長、鄉軍各分會長は職責上缺かさず參列してゐるが一般知名士になると國運の盛衰に關する重大行事に對する關心が鈍い、桑名○隊長、佐藤○○隊長、神崎地事副所長、二三地方委員の外に其の姿を見ない

○令状交付の成績は遺憾ながら不良當事者たる兵事係、各派出所勤務の警察官がなんとかして令達におちのないやう苦辛すを有様が偲ばれる

○參會の令狀を受けた者が、住所を異動した、病氣に罹つた、内地にも令達された參會期日を誤つた、遲刻した等の事故に對する兵事係が法規の運用によつて善處する半面には義務者からの願屆書も、本籍地關係官公衙の長に宛てた書面の代筆もする中々容易でない

○新京に在留する在鄉軍人は滿洲國の奠都後四千人も増加したといふが就職が目的で一時腰掛的に寄寓し形式的に在留屆を完了し職を得て他に轉じ其儘住所も知らせず世話になつた人に禮狀一本ださないものが多い結果は所在不明となり所謂他人である召集通報人に大に迷惑をかけ本事務を取扱ふ警察署では血眼で捜す一方之が處理に汗だくである

○在鄉軍人は其の地の分會に入會するのが立前だが前項のやうな有樣で新在留者の入會者は分會役員其他の慫慂をうけても漸く半數にみたない從て現在留者の約半數位が正會徽章を胸間に輝かすのみで他の半數はもぐりみたいなものになつてゐる、いづれ越兩三年中におちつけば相當な成績をあげ得るであらう

○兵事係では本春から陣容が概ね整たので閑散期である多期に於て在留状況の調査徹底を期し來年度から水も洩らさぬといふ意氣込みで今からそろそろ準備をととのへてゐる、召集の演習も二度や三度は行ふといつてゐるから住所の異動に對する屆出は勿論有事に際する用意如何も查察されるので義務者は萬遺漏のないやう呉々も

夕涼み列車申込　早くも滿員

素晴らしい前景氣の夕涼み列車はたつた一日で最初の募集人員八十名を超過したので二輛連結で百四十名募集に變更して發表した處直ちに一日晝ごろまでに規定人員に達したので一日で受付け締切りとなつた、なほ既報のサービスとしてのビール、サイダー、タバコのサービスは列車内でこれらを賣りお客の便宜を圖る接待ではない故誤解ないやうに

「スワ敵機毒瓦斯撒布」救護班の活動

防空展第一日午後

防空展の防毒、救護演習は一日午後一時から室町小學校々庭で催された

＝校庭＝の中央に演ずる滿人手品師の手品に見入る市民は約三千人、强風を犯して午後二時十五分突如首都新京の上空に現れた敵機は街の中心になる室町校庭に強度に呼吸器を侵す毒瓦斯を撒布して何れかに消へた（以上假設）防毒マスクを着用したガス斥候が逸早くガスの性質、量、風向き等を福本總指揮官に報告するや、ガス警鐘のサイレンがうなる、手品見物中の無統制、未訓練の市民は狼狽、早くも中毒に罹つて横に倒れる重傷者や輕傷者も出た、救護班、防毒班の活躍は効を奏して一名の犧牲者なく、午後二時三十分演習を終つた、高木航空中佐の講評によると

最初の防空演習としてはまづ成功、然しまだまだ大いに研究訓練を要する

＝大體＝からみて概してよろしい

となほ次回の防空展覽會場である奉天からは菅柳航空少佐が見學に來京した

農安西北楊樹林に眞性ペスト發生

農安のペスト調査のため現地に出張中の民政部調査防疫班が去る七月廿五日農安北方哈拉海城子西方五十滿里の楊樹林で罹病中の年齡卅才位の滿人女の血液を採取、卅日歸京の上檢査の結果、一日午後に至り眞性ペストなること判明したので民政部衞生司及ひ滿鐵にて協同して農安のペスト防疫班を現地に派遣、傳染豫防策を講ずることゝなつた、なほ現地の罹病者は約十名で何れも眞性ペストなる模樣である

京釜線復舊開通

【奉天國通】水害の爲不通となつてゐた京釜線龜浦、勿禁間は、卅一日午後漸く復舊、同七時同地點通過の第六列車より開通した

伊通縣の水害狀況

【吉林國通】吉林省各[illegible]被害最も甚大なる伊通縣の調査報告左の如し

家屋倒壞一五九四間、半壞一七三三〇間、農作物全失地三一二四六晌、半失地一〇〇八〇四晌

尙人命被害は死亡者五名なるも右家屋農作物の被害者總數五一〇五〇名となり、その被害總額二五五二五〇圓の見込みである

またく全滿的に憎い雨の訪れ

＝中央觀象台發表＝

中央觀象臺發表＝卅一日支那内陸に現はれた低氣壓は一日朝北支那天津附近に達し七百五十三ミリを示して北東に移動しつゝあるため南滿洲では諸處に雨を催した、今後この低氣壓は次第に南滿方面に移動して來るから滿洲の天候は惡化し雨量も遼河、第二松花江流域に於ては數十米に達するやも知れぬ

△各地の雨量（卅一日朝より一日朝迄）

地名	雨量
天津	三八粍
營口	四七粍
四平街	ナシ
チチハル	ナシ
承德	七粍
鞍山	三十三粍
新京	ナシ
海倫	ナシ
大連	八粍
奉天	十三粍
兆南	二粍
旅順	五粍
開原	五粍
ハルビン	ナシ

滿洲國皇帝　秩父宮御來滿映畫御觀覽

滿洲國皇帝陛下には卅一日午後八時より宮内府中庭庭球コートに於て皇后陛下始め醇親王御同座にて秩父宮御名代宮御來滿映畫「風光る」（情報處製作）五卷トーキーを御觀覽遊ばされ石丸侍從武官、工藤侍衛官長等陪觀仰付けられたが皇帝陛下には特に御興味深く樂しく御觀覽あらせられ映畫に伺候の情報處並に滿鐵弘報室員は面目をほどこした、因に本映畫は近く市內一齊に封切される筈

永田美那子女史　軍政部の囑託に

滿洲國における婦人運動の指導として事變以來目覺ましい活躍を續け、近くは新京の國防婦人會並に滿洲國々防婦人會設立に獻身的努力を拂つて來た永田美那子女史は八月一日附をもつて軍政部囑託となり、今後同女史は滿洲國婦人の全面的啓蒙運動に專念することゝなつた、（寫眞は永田女史）

操車中過って大腿部を轢斷さる

新京運轉區操車事故防止デー初日にこの慘事—新京驛操車方雇員小野寺忠治（二六）氏は一日午後三時五十五分ごろ京圖線構內で操車作業中第千八十六號機關車が後方から來たのに氣付かず該機關車に觸れ左右上大腿部を轢斷され直ちに新京醫院に擔ぎ込み應急手當を加えたが生命に別狀なしなほ同氏は宮城縣桃生郡中津山村生れ現住所は中央通り益濟寮、昭和七年秋第四聯隊を除隊後入社したものである

東部線に大匪團來襲

【ハルビン國通】三十一日午後六時頃北鐵東部線阿什河東方四キロの地點に約二千四百の大匪賊團出沒、阿什河を襲擊せんとすとの急報に接し、午後十一時當地より救援列車は現場に向け急行したが詳細一切不明

北克線孟家店　三十名の匪賊襲擊の報

【北安鎭國通】三十一日午後北克線孟家店の中方山中に久勝金山の部下約三十名集結し同部落を襲擊せんとしつゝありとの情報に接し警察隊三十名現場に急行す

胡仙堂における鮮農問題（下）

上述の如く問題が尖鋭化するに至つたので問題は新京に於る興安總署と大使館側との交渉にまで移り種々折衝の結果五月八日

一、鮮農全部を巴岱及三合福に復歸せしむ

二、復歸に要する土地其他に就ては能ふ限り便宜を與へ現地に於て解決の具體案を作製のこと

三、現地立退に對し鮮農側動搖につきては南分省及齊々哈爾領事協力して善處すること

の要旨に於て解決案に到着、五月十四日には領事館及南分省派遣員が旗長と共に胡仙堂に到着、折衝の結果

一、領事館側は五月八日の協定に基き鮮農側を三合福並巴岱に復歸せしめること

一、南分省側は領事館の命令に依り鮮農側が三合福及巴岱に復歸せば旗長並復歸先現地に於る滿蒙農民を說得して態ふ限りの便宜を鮮農側に與ふること

となり領事館側派遣員は鮮農側代表者已對して、興安總署と大使館との交渉の結果、現地水田作は不許可となつたので巴岱及三合福に復歸するように勸告した結果代表者の意見も漸く領事館側の命令に服し、巴岱に復歸するに決定したが現地視察の結果、三合福は鮮農の希望を滿たし得ず鮮農代表中には前途を悲觀するもの、强硬意見を有するもの等現はれ代表者間の意見が一致せず一部不穩の擧に出でようとし、他方蒙古人側にも鮮農の態度を非難するものがあつて感情尖鋭化し鮮農側の昂奮が止まず「如何なる事あるも現地を死守すべし」と主張し派遣員も手の下し樣なく兩派遣員は協議の結果、一時現地引揚げの已むなきに至り、遂に五月十九日兩者の派遣員の間に於て

一、鮮農慰撫策として鮮農代表二名を興安總署及南分省公署に派し陳情及歎願せしむること

一、派遣員は領事館側、南分省側とも實情を夫々上司に報告回訓を仰ぐこと、鮮農側は再度領事館より命令あるまで工事を中止すること

の申合せを爲し妥協解決の道を上司に仰ぐこととなつた

解決

かく不穩の形勢に立至つたので事實の有無の調査と治安工作のため遂に軍隊の出動を見るに至り、軍は嚴正中立、鮮人、蒙古人の何れにも片寄らず、飛機上より宣傳文を、撒布する等、兩者の鬪爭緩和、問題の平和的解決に努力した結果領事館と旗公署との交渉も進み、巴岱に二百天地の水田を物色し旗公署と農務との間に三ヶ年間、借地小作料一天地に付粮八斗の契約成り、鮮農中勞働を爲し得る者九十七名は滿人家屋二十間の提供を受け同地に移つて植付に着手し、家族の女子、子供等は來春まで胡仙堂に留まり傍ら三十天地の畑作を爲すことの條件にて目出度く手打ち成り、この蒙古に於ける第二の萬寶山事件も六月十一日に至り漸く前記の如く無事解決を見たのであつた

黃泥河子、秋梨溝間開通

京圖線黃泥河子、秋梨溝間三百八キロメートル水害個所は三十一日午後十二時ごろ漸く復舊した

滿電が城內に獨身宿舍と營業所新築

滿電新京支店では大經路に三千坪の車庫および二階建千二百坪の獨身宿舍並に興安大路と興亞路の十字路五百坪に營業所を建築することゝなり、これが地鎭祭を一日午後三時半から車庫敷地で行つた

松花江水位　一三三米六二

【ハルビン國通】松花江水位は三十一日午後八時に於て一三三米五〇糎、本一日午前八時には既に〇、一二米増して一三三米六二糎となり一昨年の大洪水最高水位一三四米三一糎（八月八日）に刻々近づきつゝある

長春座は二日からファン待望の松竹のオールトーキー「隣の八重ちやん」とめをと大學の二本立てで六日まで晝夜二回の興行である、めをと大學のキヤストは市松に阪東好太郎お鈴に飯塚敏子、お殿樣に小笠原章三郎、星姬に堀江清子、家老に坪井哲お美代に花岡菊子、隣の八重ちやんのキヤストは服部長作に岩田祐吉、妻濱子に飯田蝶子、娘八重子に逢初夢子、姉娘京子に岡田嘉子新非幾造に水島亮太郎妻松子に葛木文代、息惠太郎に大日方傳、ガラン屋の小僧に阿部正二郎

第五日競馬成績

第一競馬（二頭）一八〇〇米　（一）榮玉（騎手寺田）二分五八秒一　（單）四圓八〇錢　揺彩票一等 三〇圓二〇錢　等外 七圓五〇錢

第二競馬（四頭）一八〇〇米　（一）林西（騎手寺田）二分四〇秒四　（單）一三圓八〇錢　揺彩票一等 四五圓八〇錢　等外 三圓八〇錢

第三競馬（四頭）一六〇〇米　（一）天拜（騎手白石）二分二三秒四　（單）一四圓四〇錢　揺彩票一等 九一圓七〇錢　等外 七圓六〇錢

第四競馬（六頭）一六〇〇米　（一）首都（騎手落合）二分二九秒　（二）南洲　配當（復）（一）五圓五〇錢（二）四圓六〇錢　（單）一四圓六〇錢　揺彩票一等 一二五圓四〇錢　二等 三一圓三〇錢　等外 九圓八〇錢

第五競馬（三頭）一八〇〇米　（一）三洲（騎手有有）二分四二秒　（單）四圓三〇錢　揺彩票一等 一二六圓九〇錢　等外 一五圓八〇錢

第六競馬（四頭）一六〇〇米　（一）大利（騎手清水）二分三〇秒一　（單）五圓六〇錢　揺彩票一等 三五八圓四〇錢　二等 一〇二圓四〇錢　三等 五一圓二〇錢　等外 二一圓三〇錢

第七競馬（七頭）一八〇〇米　（一）矢風（騎手吾市）二分四四秒　（二）荷葉　配當（復）七圓一〇錢 四圓六〇錢　（單）一六圓二〇錢　揺彩票一等 二〇七圓一〇錢　二等 五一圓七〇錢　等外 一二圓九〇錢

第六競馬（五頭）一六〇〇米　（一）春日（騎手高尾）二分二二秒　（二）克力　配當（復）三圓五〇錢 二圓二〇錢　（單）八圓九〇錢　揺彩票一等 一八四圓三〇錢　二等 四五圓八〇錢　等外 一九圓二〇錢

第九競馬（十一頭）一六〇〇米　（一）震（騎手高尾）二分二三秒　（二）若葉　（三）久慈　配當（復）（一）四圓〇〇錢（二）四圓〇〇錢（三）七圓〇〇錢　（單）一二圓三〇錢　揺彩票一等 四〇七圓六〇錢　二等 一一六圓四〇錢　三等 五八圓二〇錢　等外 一八圓二〇錢

第一〇競馬（四頭）一六〇〇米　（一）花月（騎手清水）二分三五秒　（單）六圓〇〇錢　揺彩票一等 一六六圓四〇錢　等外 一三圓八〇錢

第十一競馬（三頭）一八〇〇米　（一）惠愛（騎手落合）二分三九秒　（單）五圓四〇錢　揺彩票一等 一三二圓二〇錢　等外 一六圓五〇錢

第十二競馬（三頭）一八〇〇米　（一）新興（騎手內田）二分四九秒　（單）六圓一〇錢　揺彩票一等 二五圓二〇錢　等外 一四圓四〇錢

新京に初めて
―防空展を觀るの記―

(一)

關東軍司令部、滿洲國交通部新京特別市公署、滿鐵地方事務所、滿洲國協和會、在鄕軍人會新京聯合分會、社會事業聯合會、新京聯合婦人會、新京國防婦人會など十指に垂んとする各官公署團体の後援により防空協會新京支部、人類愛善會が主催する處の日滿大防空展覽會が、一日から室町小學校講堂に開催された、主催側の出品の他に、軍司令部から防空參考兵器が出陳され更に校庭では毒瓦斯防毒の實滿演習が在鄕軍人、學生等百數十名の參加により擧行され夜は夜で軍提供の愛國映畫を中心に防空映畫が映寫されるといふのだから、前景氣は大したものである、兎に角、世界列强が形式的にでも纒めようと努力してゐた軍縮條約を絕望し、各國が軍備の充實に鑑み、殊に東亞和平の爲には力を入れ出した最近の情勢に積極的な行動をさへ辭せないと自覺して來た日滿兩國民の間に空に對する關心が深められ、防空より制空への理想を實現させるためにも、勃興する防空熱に魁けたこの『日滿大防空展』の實際を一度觀る必要を痛感するのだ

○

新京の街々に張られたビラが廣場々々の廣告塔が、防空への昂奮を撒きちらす―室町小學校の『防空展會場』の入口には、守れ空樂土焦土の別れ道、空の安全地の平和、天に防空地に防護、の標語が我々に奥ひかける、歡迎―の門を眞直に、と突如我々の眼前には壯烈な野戰が展開し、爆彈がさく裂する、時代は移り、戰術は變る―誠に、この漠たる大陸の白兵戰に躍るのは機械化兵團タンク、裝甲車、空には爆擊艦隊のみ、歐洲大戰に於ける如く慘たる塹壕戰ではない、が見よ、この戰場では、いま、濛々たる白煙、毒瓦斯と灼熱の業火、火焰放射機の深刻な化學戰だ、恐らく次に人類が經驗するであらう第二次世界大戰は、かくの如く、地上に一將兵の姿をも見ずして、さながら羽虫と甲虫の戰闘の如く、怪奇な、昆虫戰、を展開して勝敗を決するのではあるまいか

○

我々の住む新京がもし空襲を受けたとしたら―この無氣味な假定が假定でなくなつたとしたら、諸君は、どうするか?その慘憺たる恐怖の日の情况がパノラマとなつて諸君は見ることが出來る、高層建築は爆彈によつて粉碎され、重要地點は燒夷彈によつて焰の洗禮を受ける、その熱度三千度、右往左往する民衆に安全と秩序を與へる爲に、防毒マスクに武裝し警官は、消防隊は、防護團は、救護班は活躍する、統計によれば、空襲時の被害は、民衆の混亂狼狽によつての方が甚大である由、歐洲大戰間にロンドンが見舞はれた投下爆彈の浪を東京市に移せば、さながら蜂の巣の如しだ、その物凄い投下爆彈は四五瓩から千八百瓩まで數種、この大きな奴を一發落されると十九米半平方に七米の深さの穴が明けられる

○

人類が經驗した最近での大規模な殺人―歐洲大戰だ、名乘りを上げて切り結んで居た日本の武士道、西洋の騎士道的な戰法が、飛道具の出現によつて集團的になり、實にこの大戰では毒瓦斯、タンクの新機軸となつた、勿論 この次は空だ空からの攻擊は野蠻人だけの恐怖ではない、殊に我々は、これに對して苦い經驗をもつてゐない、防空はその物凄さを知らない人達にも充分戰慄であり得るが、その洗禮に浴した者から觀れば、それは單なる戰慄ではなくて一切を失ふか否かの絕對權だ、玆に防空知識の普及と防空施設の緊要さがある

だから陸の第一線を控へた滿洲國の我々にとつては「防空」こそ全民族一致協力して將に爲すべき第一の仕事だ、近時全滿に勃興しつゝある「空」の關心を見るがいゝ九、一八の事變記念日は防空デーと決定した、防空協會の支部が各地に設立された、早ければ早い程いゝ、ソヴエート聯邦では既に數年前から全土的に『防空協會』とも云ふべき『オソビアヒム協會』が設立されて極東義勇號數十台を獻納してゐる、確に、防空に關する限り、すべては早ければ早い程いゝ

○

諸君は歐洲大戰當時に於ける空からの慘害に眼を蔽ふであらう、しかも時日は、それから十數年を經過してゐる、秘密裡により慘虐な毒瓦斯が研究され、より優秀な性態を持つ航空機が建造されてゐるに違ひない、だから地上では様々な方法で空の襲擊から逃れ様とする、都市は僞裝する、河川、水源地は發煙劑によつて遮蔽される その上空は煙幕により、或は積極的に防空氣球によつて防護される(つづく)

銷夏漫錄(一)
兀山生

歷史は繰り返へすと先賢が喝破せられし通り、當年初夏鄭總理閣下が日本に使して朝野の歡待を受けられしは恰も距今千五十余年前、渤海國の特派全權使裴　が百五人の大行列にて平安朝廷に參賀し、上下の厚遇を享け、就中、菅原道眞と詩文の應酬ありし事等實にや昔を今に繰返したる感あり、菅公の送別の詩に

夏夜於鴻臚館餞北客歸鄕

歸歟浪白也山靑　恨不追尋界上亭
腸斷前亭相送日　眼穿後紀轉來星

×

征帆欲繫孤雲影　客館爭容數日扃
惜別何爲遙入夜　緣嫌落淚被人聽

其他幾多の堂上雲卿の接待ありし當時、兩國の和親厚情察するに餘りあり、特に菅公と裴　が同年の生誕なりし事は偶然ながらも奇緣と謂へまいか、其の子裴　が亦、菅公の第四子淳茂と同年出生、實に奇緣と謂ふべきか

其頃平安朝の都良香が渤海使節の隨員に墨痕鮮かに揮毫して贈られたといふ扇子二十本其詞句

隨時致用在夏爲功君子所扇揚仁風(其他十九年詞句畧)

右の内一本にても此世に殘存せらるゝものは東部吉林の舊家に尋ねたきものとぞ、昨年末、東亞考古學會の事業として東京帝大の原田淑人博士一行が渤海國都現在の東京城趾を發掘研究中、其時代の石燈籠現存其他幾百點を考證され又奈良朝の鑄錢和銅開寶(距今千二百二十七年)を得たりしといふ、學者の研究探査は難有ものにて此の後益々由緒關係ある珍品發現せんことを喝望して其日の來るを待ち居る同好連は尠なからずと思ふ 一穴賢

スッポン料理 鰻蒲燒
實會歡迎 食道樂 とどろき 朝日通日本橋畔 電三九三六番

連山關「山間聚落通信」
西廣場小學校(四)

十四、就寢準備、八時半より歯を磨き部屋を整頓し床を延べる

十五、消燈就寢、午後九時、嚴格に規約を勵行し寢付を早くするよう訓練に務む一日毎に早くなる事がわかる

十六、付添教員打合會、兒童就寢後付添七名其他役員集合當日の反省と翌日の計畫とを話し會ひ終つて雜談に時を移し十時半頃散會するこの間色々指導の資料又は教育の糧が得られるのである

◉聚落中の特別行事

前述の水車干もその一つである、その外「下馬塘の遠足」「磨き砂採集遠足」が重なものである

△下馬塘驛はすぐ隣りである子供は銘々六錢を出し合ひ團体乘車券を買ひ十分間汽車に乘る、朝七時發だから朝食をお握りにして持參する、下馬塘は河巾廣くボート三隻櫓船一隻浮べて無料貸與して與れる、午前十一時まで何遍となく船に乘り河を渡つて遊ぶ、子供自身で出來る、然も大部分は淺いので子供が河中で大船にお母さん方を乘せ手で押して渡すなど隨分呑氣な遊びである、朝飯のお握りは何とも言へぬおいしさであつた、驛の叔父さんで櫓を漕いでとても上手な方が何回となく遊覽船を出して與れた、又麥湯を何回も運んで與れた、午前十一時廿分發で想出の多い行樂に名殘を惜みつゝ歸關した、下馬塘驛關係の各位に厚くお禮を申します

△磨き砂採集遠足は半日程度の距離の山路行軍である、沿路の景色を賞しながら磨き砂の産地へ採集に行くのである、重いのに慾ばつて大きな袋を抱え持て余してゐるのも一興である

以上拙文で然も前後し重復してゐますが當聚落の概要を申上げた次第であります、出發以來第六日の今日まで子供大人打揃ひ上機嫌大元氣で好成績の中に聚落の日課を鵜めて居ます、どうぞ御安心をお願申上げます 九、七、二六記

海の外から

巨砲みたいな 世界一の大カメラ

ワシントンに在る有名な米國海洋地質測量所に今度世界第一の大カメラが現はれ各國の視聽を集めてゐる―この巨砲みたいな大カメラは長さ卅一呎重量十四トン製作費實に一萬五千二百四十ドルを要し、政府の秘密海洋圖や航空圖など五十吋四方大の面積に寸分違はず千分の一縮圖にして複寫出來るといふ精巧な凄物

意志と智の藝術家 七十才で隱退す

獨乙の有する意志と智力の藝術家リヒャルト、シュトラウス氏は去る十一日に第七十回の誕生を迎へたので近く國立劇場に於ける彼の最新作歌劇「アラベルラ」の上演を最後に藝術界から隱退することとなつた

倫敦の水饑饉 貯水地は龜裂オンパレード

世界を襲ふた水饑饉―殊に倫敦は物凄い許り池沼は涸渇し切つてゐる、ハートフオード州トリング貯水池は最近愈々池底を曝露し底面は哀れにも龜裂オンパレードとなつたので倫敦では「テームズも八百萬の市民も乾き上つて了ふ」をモットーに水の節約宣傳をなすこととなつた

世界一の落下傘 五噸の重さを支へる

米國に於て、世界一の大きい落下傘が出來た、これを作るに大巾一萬五千尺の反物を要したといふ代物、空中で廣げると約五噸の重量を支へることが出來ると

拳鬪仕合後 酸素煽風機を使用

英國拳鬪界では仕合後、直ちに酸素煽風機を使用、疲勞回復の一助とする事となつた此の器具は普通煽風機と酸素貯へ器とを二重に組み合せ酸素の適量を疲勞程度に應じて吸ひ込ませる仕組となつてゐる

ラヂオ欄

二日(木曜) 新京

前 六、〇〇 ラヂオ体操(東京より)
同 六、二〇 ラヂオ体操(滿語)
指導 大滿洲國体育聯盟委員 于希渭
同 六、四〇 滿語講座
同 七、〇〇 講師 高宮[illegible]
講師 植松金枝 日語講座
同 七、二〇 ニュース(日語)
同 八、〇五 經濟市況(東京より)
同一〇、四〇 經濟市況(東京より)
同一〇、五九 時報唱盤
同一一、三〇 ニュース(滿語)
同一一、四〇 ニュース
後 〇、〇五 經濟市況(東京より)
同 〇、三〇 經濟市況(奉天より)
同 一、〇〇 演藝唱盤(滿語)
同 二、〇〇 演藝(滿語) 日用品値段
同 二、四五 ニュース(滿語)
同 二、五〇 經濟市況(日語)
同 三、二〇 ニュース(東京より)
同 三、三〇 經濟市況(日滿語)
同 四、〇〇 官廳ニュース(奉天より)
同 四、三〇 國務院情報處發表(滿語) ニュース
同 四、四〇 ニュース(滿語)
同 四、五〇 ニュース(鮮語)
同 五、〇〇 ニュース(英語) 子供の時間
同 五、三〇 時事解說(滿語)
同 五、五五 氣象通報 番組豫告(滿語) ニュース
同 六、〇〇 (東京より)
同 六、三〇 清元(大連より)
青海波 淨瑠璃 六檢歌仙 同 愛春 三味線 同 レン 上調子 同 幸松 補導 清元榮造
後 七、〇〇 ダンスミュウヂック(奉天より)
出演 ウヌアニーモ、タンゴ オルケスタ
一、ママ(タンゴ)
二、クーペペ
三、浪を越へて(ワルツ)
四、リリウエ合唱付
五、ヂーラヂーラ獨唱付
六、ホノルルの月(ワルツ)
七、おめかしして(ランチヤラ)
八、左様ならなんて云はないで(フオックストロット)
同 七、三〇 民謠とジャズ(ハルピンより) 唄 カプルノバ夫人 ピヤノ伴奏 シーリング
(一)民謠 一、赤いスカート 二、夏の吹雪 三、エプロン 四、獨りぼつち
(二)ジャズ スウトラナジャズバンド 一、然美(フオクストロット) 二、ナイヤガラ(ブルース) 三、カリオカ(ルンバ) 五、立賣り(ルンバ)
同 八、〇〇 種目變更ナシ(新京)
同 八、二九 時報ニュース(東京より)
同 八、四五 氣象豫報、番組豫告 ニュース
同 九、〇〇 演藝(滿語) 連香班 彩鳳 ニュース(滿語)

日本の聖女

生田葵 作　（映画上演）

一七〇　男装のお春（二）

「マリヤ樣がなんで數之丞とお前樣の結婚をおきらひにならう。眞實おきらひになるものであるなら結婚式の當夜に結婚を妨げる障りが起らねばならない筈。それがなかつたばかりか、眞實マリヤ樣がお前樣と數之丞殿の結婚をお嫌ひなされてお罰をお下しになるのなら、結婚を勸めて式を上げさした私にくる可き筈。マリヤ樣はそんな筋違ひなよこしまな業はなさりはせぬ。そのやうなこと考へぬがいゝ。お罰がなくとも、人の世には人の手でいろ〳〵とかん難苦らうや、よこしまな仕業が營まれます數之丞殿はつまりそのよこしまな苦らうの罠に掛けられなされたのぢや、悲しまずともいゝ。今にきつとマリヤ樣のお救ひで牢獄から出なさるに違ひ無い」

「はい」

「それに私はからも考へて居ますマリヤ樣は人間に徒らに苦らうや苦痛や悲哀をお與へなさりはせぬ。苦らう苦痛や悲哀はみな靈魂と信仰とを磨き上げるに役立つもの、數之丞殿とて今度の失策で、此度それ丈け心の修養が出來、此後は今までよりもずつとえらい人間になり、他人から身體動作の油斷を窺はれるやうなことから卒業なさるにきまつてある。お前樣は只心を氣丈夫に持ち、數之丞殿が牢獄から出て來なさる日を待つて居たさればそれでいゝのぢや」

「いろ〳〵とおさとし有難う存じます」

お高は今度はお兵の方へと向ひ

「お定殿私達は迫害とかん難を友として、一職を經る度毎につようなつてはゆかねばならないが、それにしてもやはり颱風雨や津浪や干魃が落ちて來ると解れば、それに對して工夫をして防ぎを附けねばなりませぬ。[illegible]今までよりもずつときびしく私達切支丹宗徒に網を探み出したのは知れてある。私達で工はつけられるもするが可哀相なのは此處に居る此十三人の孤兒達萬一のことがあつてはたらぬと思つてゐる矢先此間吉兵衛殿から十三人の孤兒達を一人づつわけて吉兵衛殿の子分衆の家に置くやうにしてはどうぢやとの話、お前樣もさだめし聽いてゐなさるであらうひとつそのやうにお頼みしたいと思ひます」

「そのことなれば今までに何遍も吉兵衛から聽かされて居りますかうして役人衆の眼がきびしくなつた折り柄、かうした女兒が十三人集まつてゐては、いくらこんな田舍でも人目に附き易く、かくし得られるものではありませぬ、それには幸ひ私達の子分の中には子供のないものが大勢居りますれば、それ〴〵の家へ分けて住ひろやうにしたがよいと私も申しました。何の一同が隣り近所の長屋住居、十三人共に朝夕に顏を見合はすことが出來るので、さびしがる氣遣ひは御坐りませぬ」

「それ聞いて落着きましたそれではお頼みしますお峰殿今の場合くやしいが御上の手が緩うなる迄私達の手許においた孤兒を手放します御前樣も承知して下され」

「はい、お師匠樣がさう云ふお考へでござりますれば私には存やはござりませぬ。お定殿何分よろしうお頼みいたします」

「お寮樣私も子供のない身時いつか一度は母になつて見たいと思ひをもつて居りました。こんな兒が十三人一時に出來たと思つて一生懸命にたつて養育しませう、貴女樣にお峰殿やお菊殿と一緒にお高樣をまもつて此處に落着いてお出でなさりませ。その中には吉度森樣はお歸りになりますほど